大阪ガス

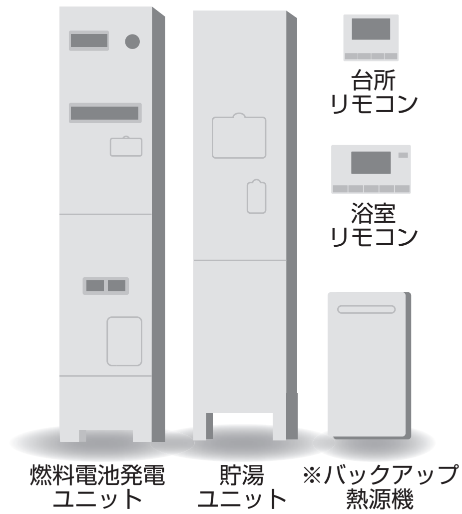
取扱説明書

保証書付

燃料電池発電ユニット・貯湯ユニット・リモコン編

ENE・FARM
エネファーム

家庭用燃料電池コージェネレーションシステム





■ 燃料電池発電ユニット（燃料電池ユニット）

品番（形式） **191-PA02**
（FC-75CR13）

■ 貯湯ユニット

品番（型式） **136-PA02**
（KGTS-FCA13A）

※ バックアップ熱源機

品番（型式） **136-PA03**
（RUFH-E2402AW（SAW））
136-PA04
（RVD-E2401AW（SAW））

■ 台所・浴室リモコンセット

品番 **138-M340**

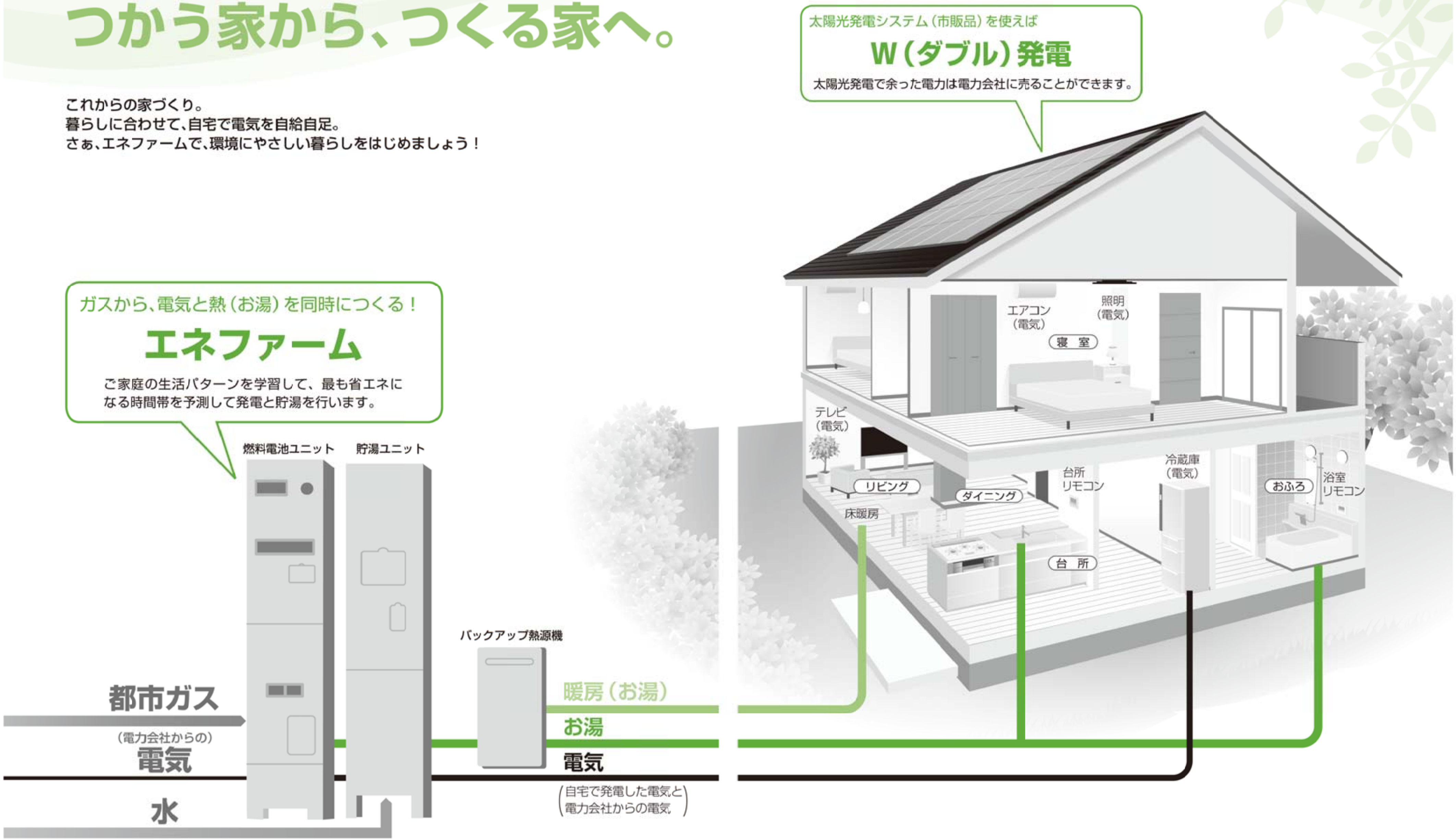
工事説明書別添付

- 本製品は、上記の燃料電池ユニット、貯湯ユニット、バックアップ熱源機、およびリモコン以外の組み合わせでは使用できません。
- この取扱説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。
  特にこの取扱説明書の「安全上のご注意」（P.8～12）、およびバックアップ熱源機や接続する機器（ふろ、暖房機器、太陽光発電システム、蓄電池システムなど）の取扱説明書に記載された「安全上のご注意」はご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
  お読みになったあとは大切に保管してください。
- この取扱説明書では「燃料電池発電ユニット」を「燃料電池ユニット」と表記しています。

※ バックアップ熱源機に付属している取扱説明書もご確認ください。

エネルギーを つかう家から、つくる家へ。

これからの家づくり。
暮らしに合わせて、自宅で電気を自給自足。
さぁ、エネファームで、環境にやさしい暮らしをはじめましょう！



イラストはイメージ図です。

もくじ



はじめに



お湯・おふろ



暖房



発電



エネルック



設定を変える



こんなとき

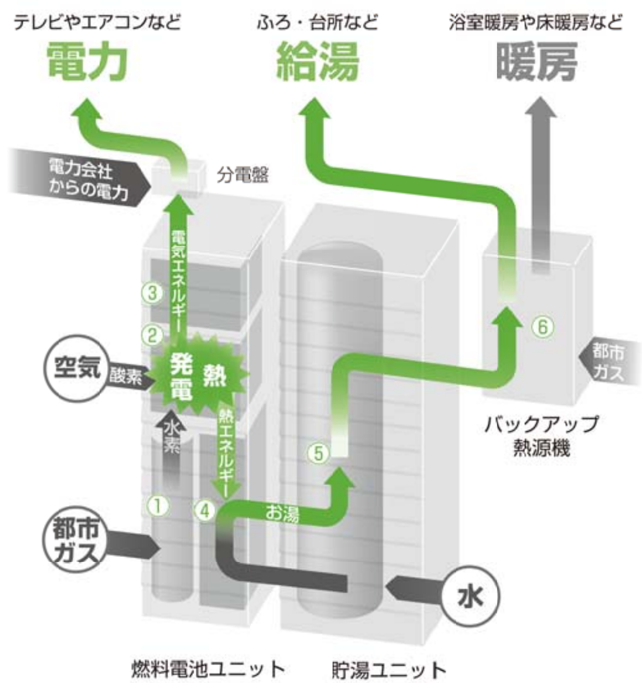


困ったとき

エネファームについて

エネファームのしくみ

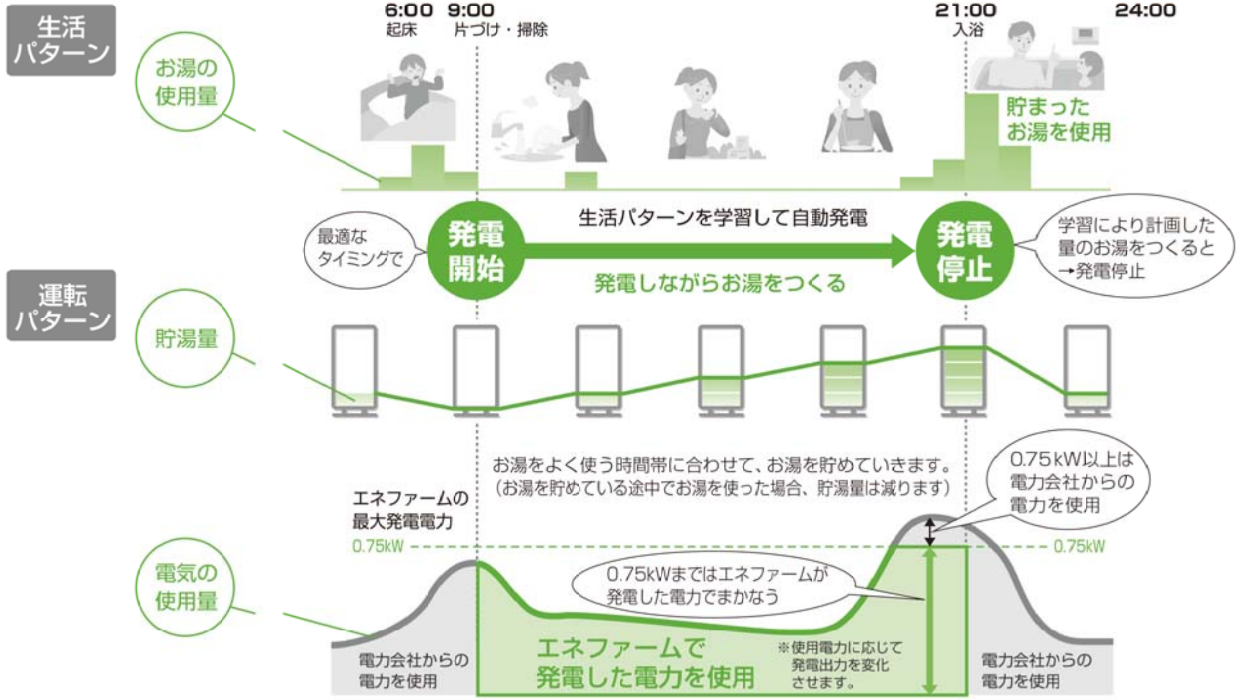
エネファームは、都市ガスから取り出した水素を、空気中の酸素と化学反応させ、「電気エネルギー」と「熱エネルギー」を創り出しています。



① 燃料処理装置	都市ガスから水素を作ります。
② スタック	水素と空気中の酸素を反応させることで直流の電気と熱を作ります。
③ インバーター	スタックで作った直流の電気を家庭用の交流の電気に変換します。
④ 熱回収装置	スタックで作った熱をお湯として回収します。
⑤ 貯湯タンク	お湯を貯めます。
⑥ バックアップ熱源機	貯湯タンクにお湯がたりないときに加熱します。床暖房などのお湯を供給する機能（暖房機能）をもつ機種もあります。

1日の生活と運転パターン例（自動発電）

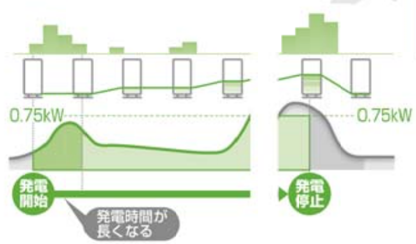
ご家庭の生活パターンにあわせて、最も省エネになるように運転します。（発電は１日１回のみ）



生活パターンにあわせて運転パターンが変化します

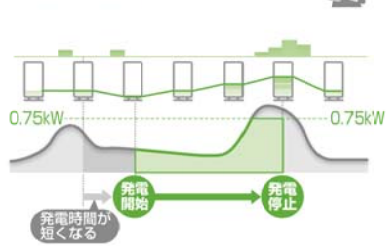
お湯の使用量が多い

お湯がたくさん必要なため、
発電時間が長くなります。



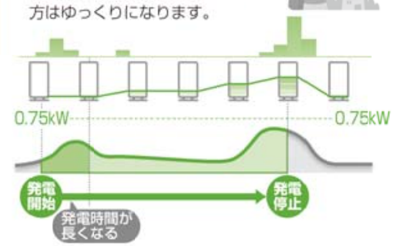
お湯の使用量が少ない

必要なお湯の量が少ないため、
発電時間が短くなります。



電気の使用量が少ない

発電電力も小さくなるため、発電時間が長くなりますが、お湯の貯まり方はゆっくりになります。



安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
安全上のご注意では、燃料電池ユニットのみに関する項目は燃、貯湯ユニットのみに関する項目は貯、これら以外の項目は■にて表示します。
またバックアップ熱源機や、接続する機器（ふろ、暖房機器、太陽光発電システム、蓄電池システムなど）の安全上のご注意は、それぞれの取扱説明書でご確認ください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

⊘	してはいけない内容です。
●	実行しなければならない内容です。
⚠	気をつけていただく内容です。

⚠ 危険



火災・一酸化炭素中毒などを防ぐために

必ず行う

■ガス漏れに気づいたら、すぐ次のことをする

（引火による火災や爆発の原因）



① 機器の使用をやめる。
② 燃料電池ユニットとバックアップ熱源機のガス栓（P.14～15）とマイコンメーターのガス栓を閉める。
③ お買い上げの販売店かガス事業者に連絡する。

禁止

■ガス漏れに気づいたら、次のことをしない

（引火による火災や爆発の原因）

- ■ 火をつけない
- ■ 電気器具のスイッチを「入」「切」しない
- ■ 電源プラグを抜き差ししない
- ■ 周辺で電話を使用しない

禁止

■屋内に設置しない

（一酸化炭素中毒の原因）



⚠ 警告

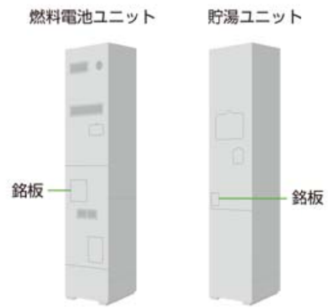


感電・火災・やけどなどを防ぐために

ご使用前に

必ず行う

■ 銘板表示のガス種・電源を使用していることを確認する
（一酸化炭素中毒や火災、故障などの原因）



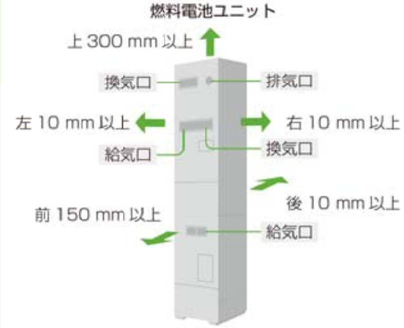
アースする

■ アース工事がされていることを確認する
（感電の原因）
→アース工事がされていない場合やご不明な場合は、お買い上げの販売店またはガス事業者にご相談ください。

ご使用開始後は

禁止

■ 機器本体・給気口・排気口・換気口の近くに、ガス類の容器、燃えやすいもの、引火物を置かない
（発火や火災、爆発の原因）
・燃えすいものとは、下記の寸法以上を離す。



→メンテナンススペースも配慮してください。ご不明な場合はお買い上げの販売店またはガス事業者にご相談ください。

■ 機器に無理な力を加えない 機器本体や配管などの上に乗らない
（けがやガス漏れ、不完全燃焼の原因）
燃 給気口・排気口・換気口をふさがない
（火災や故障の原因）
■ 配管を触らない
（やけどや故障の原因）
■ 必要な場合以外は、パネル・カバーを外さない
■ ブレーカーカバーや水抜き栓などを開けたまま使用しない
（感電や、やけど、けがの原因）

安全上のご注意 必ずお守りください

安全上のご注意では、燃料電池ユニットのみに関する項目は燃、貯湯ユニットのみに関する項目は貯、これら以外の項目は■にて表示します。
またバックアップ熱源機や、接続する機器（ふろ、暖房機器、太陽光発電システム、蓄電池システムなど）の安全上のご注意は、それぞれの取扱説明書でご確認ください。

⚠ 警告



感電・火災・やけどなどを防ぐために

電源プラグやコードは

禁止

次のことをしない
（火災や感電の原因）



- 貯 ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしない
- ■ 電源プラグやコードを破損するようなことはしない
（傷つける、加工する、高温部に近づける、無理にねじ曲げる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

必ず行う

次のことを守る
（火災や感電の原因）

- ■ 専用のコンセントおよびブレーカーを単独で使う
- 貯 電源プラグのほこりなどは定期的に取る
- 貯 コードを下向きに、電源プラグは根元まで確実に差し込む
- 貯 電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く



給湯時・入浴時は

禁止

■ **シャワー使用時は**
・使用者以外は温度を変えない。
・リモコンの給湯・ふろスイッチを「切」にしない。
・リモコンの「優先」を切り替えない。
（やけどや思わぬ事故の原因）

■ **入浴時には、次のことをしない**
・循環アダプターのフィルターが緩んだ状態や外した状態で入浴しない。
（髪の毛が吸い込まれるなど事故の原因）
・循環アダプターは、手足やタオルでふさいだり、体を近づけない。
（熱いお湯によるやけどの原因）
・お子さまを浴室内で遊ばせない。
（おぼれるなど事故の原因）

必ず行う

■ **お湯はリモコン表示温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する**
（やけどの原因）
・高温で使った直後は、特に注意が必要です。





■ **混合水栓では**
①先に給湯栓を止める。
②シャワーと蛇口の切替レバーは定位置まで回す。
（やけどの原因）

高温注意

貯 **使用中に湯温が上がってきたら、すぐにお湯から離れる**
（やけどの原因）
・停電したり貯湯ユニットの電源プラグを抜いたりすると、貯湯タンクのお湯の温度が高いときは、高温のお湯が出る場合があります。
→ 手で湯温を確認してから再使用してください。

こんなときは

必ず行う

異常・故障時

■ **直ちに機器の使用を中止し、電源を切り、ガス栓を閉める**
（火災や感電の原因）
異常・故障例
・運転中に焦げた臭い、異常音、煙、異常な温度を感じるなど
→すぐにお買い上げの販売店かガス事業者に連絡してください。

必ず行う

非常時

■ **地震・火災などの非常時は、**
①リモコンの給湯・ふろスイッチを「切」にする。
②バックアップ熱源機の給湯バルブを閉める。
③すべての電源・ブレーカーを「切」にする。
④ガス栓（燃料電池ユニットとバックアップ熱源機）・給水元バルブ（貯湯ユニット）を閉める。
（火災拡大の原因）
→ガス事業者に連絡してください。



高温注意

■ **停電中および停電復旧後は、湯温を確認してから使用する**
（湯温調節ができず熱いお湯が出るおそれ、やけどの原因）

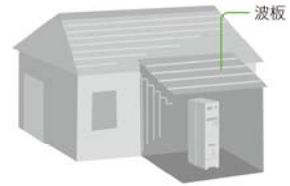
禁止

■ **水抜き時や貯湯タンクから水を取り出すときは、お湯に触れない**
（熱いお湯が出たときにやけどの原因）

増改築・移設時などは

禁止

■ **波板などで囲って屋内設置状態にしない**
（一酸化炭素中毒や火災の原因）



■ **養生シートなどで覆って使用しない**
（不完全燃焼による一酸化炭素中毒などの事故の原因）

■ **太陽熱温水器とは接続しない**
（温度制御ができなくなり、やけどや故障の原因）

分解禁止

■ **絶対に分解や改造は行わない**
（感電や事故の原因）

必ず行う

■ **ガス配管工事、電気工事は専門の資格・技術が必要なため、必ずお買い上げの販売店かガス事業者に依頼する**
（火災や感電、けがなどの原因）

安全上のご注意 （必ずお守りください）

安全上のご注意では、燃料電池ユニットのみに関する項目は[燃]、貯湯ユニットのみに関する項目は[湯]、これら以外の項目は■にて表示します。
またバックアップ熱源機や、接続する機器（ふろ、暖房機器、太陽光発電システム、蓄電池システムなど）の安全上のご注意は、それぞれの取扱説明書でご確認ください。

⚠ 注意

ご使用前に

必ず行う

■ **燃料電池ユニット・リモコン・貯湯ユニット・バックアップ熱源機の組み合わせが正しいことを確認する（表紙）**
（やけどや故障の原因）

■ **各ユニットのアンカーボルト固定を確認する（P.14）**
（本体が転倒し、けがの原因）
→固定は、お買い上げの販売店かガス事業者にご相談ください。

■ **配管の保温工事を確認する**
（凍結破損による、やけどや水漏れの原因）
→工事は、お買い上げの販売店かガス事業者にご依頼ください。

[燃] **排気ガスが建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、物置などの塗装品などに直接当たらないように設置されていることを確認する**
（ガラスの割れ、変色、塗装はがれの原因）

■ **リモコンの表示時刻が正しいことを確認する**
（総点検停止(P.62) 時期が早まる原因）

ご使用開始後は

禁止

■ **機器の近くで、スプレーや有機溶剤を使用しない**（火災や性能低下、故障の原因）

[燃] **動植物に、排気ガスを直接当てない**
（動植物に悪影響を及ぼす原因）

■ **お子さまを機器の周囲で遊ばせない**
（やけどや思わぬ事故の原因）

[湯] **給湯栓でお湯の流量を少なくし過ぎない**
（高温になる場合があり、やけどの原因）

[湯] **飲用・調理用に使うときはそのまま飲用しない**
飲用する場合は、下記の点に注意し、必ず一度、やかんなどで沸騰させてください。
・必ず水質基準に適合した水を使う。
・熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は、雑用水として使う。
・固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちにお買い上げの販売店かガス事業者に点検を依頼する。

禁止

■ **通話中、リモコンのスピーカーに耳を近づけない**
（大きな音による聴覚障害などの原因）

接触禁止

■ **使用中・使用直後は、排気口・配管などの高温部に触れない**

■ **排水や排水配管・オーバーフロー配管に触れない**（やけどの原因）

必ず行う

■ **機器の周りはきれいにしておく**
（異物・ゴキブリ・昆虫などが侵入して、火災や故障の原因）

■ **長期間使わない場合、必要な処置をする（P.70）**（凍結やガス漏れなどの思わぬ事故の原因）

■ **つららの落下に注意する**（けがの原因）
・冬期は特に積雪時の雪解け水や排気中の水分が凍結して、つららとなって落下することがあるため、排気口の下に立ち入らないでください。

■ **積雪時は、給気口・排気口の除雪・点検をする**
（一酸化炭素中毒など事故の原因）

こんなときは

禁止

■ **貯湯タンクのお湯が熱い状態で排水しない**（やけどや排水管などの破損の原因）
・貯湯タンクにお湯が残っている場合は、給湯栓を開いて、お湯を使い切ってから（貯湯量表示がゼロになるまでお湯を出してから）排水してください。

必ず行う

[湯] **災害時に貯湯タンクからお湯（水）を取り出すときは、熱に強い容器を使用する（P.72）**（やけどの原因）
・ガラス容器などは熱により割れることがあります。

必ず行う

■ **塀などの増設時は、機器の点検・修理・メンテナンスに必要な空間を確保し、空気の滞留を防ぐ**（一酸化炭素中毒など事故や、点検・修理への支障の原因）
→お買い上げの販売店かガス事業者にご確認ください。

■ **お手入れ、水抜き時は機器が冷えてから行う**
（やけどの原因）

使用上のお願い

安全上のご注意では、燃料電池ユニットのみに関する項目は[燃]、貯湯ユニットのみに関する項目は[湯]、これら以外の項目は■にて表示します。

故障を防ぐために

■ **本製品は家庭用です。業務用には使用しないでください。**

■ **ガス事業者指定の部品や機器以外は取り付けないでください。**

■ **発電、給湯、シャワー、ふろ、暖房以外の用途に使用しないでください。**

■ **運転中にブレーカーなどの電源を「切」にして、停止させないでください。**

循環アダプター



■ **浴槽の循環アダプターのフィルターはこまめに掃除し、入浴中はタオルなどでふさがないでください。**

■ **温泉水、井戸水、地下水、人工炭酸泉装置などの水は使わないでください。**

■ **給湯・ふろスイッチ「切」の状態で給湯栓を開けないでください**
→水を使用する場合は、混合水栓は「水」の位置で使用してください。
・配管に冷水が流れると、機器内で結露するなど機器の寿命を短くします。ただし、凍結予防のために給湯栓から水を流す場合は、この限りではありません。

■ **入浴剤や洗剤などについて**
・硫黄、酸、アルカリ、塩を含んだ入浴剤や洗剤、また沈殿物が生じるような入浴剤は使用しないでください。（熱交換器の腐食や故障の原因）異常に気づいたときはすぐに使用をやめてください。
・泡の出る入浴剤は使用しないでください。使用した場合、循環不良となりおふろを沸かすことができません。
・塩素系のカビ洗浄剤、酸性の浴室用洗剤、塩素系または酸性の消臭剤、塩などが機器やガス管などにかかったときは、すぐに十分に水洗いをしてください。（思わぬ事故や故障の原因）
・入浴剤や洗剤は、その商品の注意文をよく読んでご使用ください。

■ **24 時間風呂を設置・使用しないでください。**

[燃] **燃料電池ユニットより 1.5 m以内で、油性塗料を用いた塗装の最中と乾燥中の場合、塗装後3時間以上経過して発電を開始してください。**
（機器が正常にはたらかないおそれ）

お手入れのときは

[湯] **浴槽・洗面台はこまめに掃除してください。**
（湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色する原因）

■ **リモコンの掃除に、塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤などは使用しないでください。**
（変形のおそれ）

設置場所は

■ **テレビやラジオとは 1.5 m 以上離してください。**
（雑音の原因）

[燃] **燃料電池ユニットは車などの排気ガス出口から1 m以上（バイクは3 m以上）離してください。**
（性能低下や故障の原因）

リモコンは

■ **台所・増設リモコン**
・0℃～ 40℃の室温で使用してください。
・水や蒸気がかからないようにしてください。
・上下左右に 15 cm 以上の空間を確保してください。（マイクがさえぎられて音が拾えず通話が途切れる原因）



■ **浴室リモコン**
・0℃～ 50℃の室温で使用してください。
・ドライサウナ内に設置しないでください。
・水、シャンプー、リンス、入浴剤などを故意にかけないでください。

定期メンテナンスについて

[燃] **定期メンテナンスを行わないと、燃料電池ユニットは運転を停止します。（P.62）**

太陽光発電や蓄電池と併設するとき

■ **太陽光発電システムや蓄電池システム（停電対応システム）を併設する場合、取り扱いについてそれぞれの取扱説明書をご確認いただき、お問い合わせはそれぞれの設置、販売業者にご連絡ください。**

■ **太陽光発電システムや蓄電池システムを追加で設置する場合、工事を正しく行わないと、燃料電池ユニットが正常に動かないことがあります。それぞれの設置、販売業者に燃料電池ユニットを含めた電気設備全体の事前検討を行うように依頼してください。**

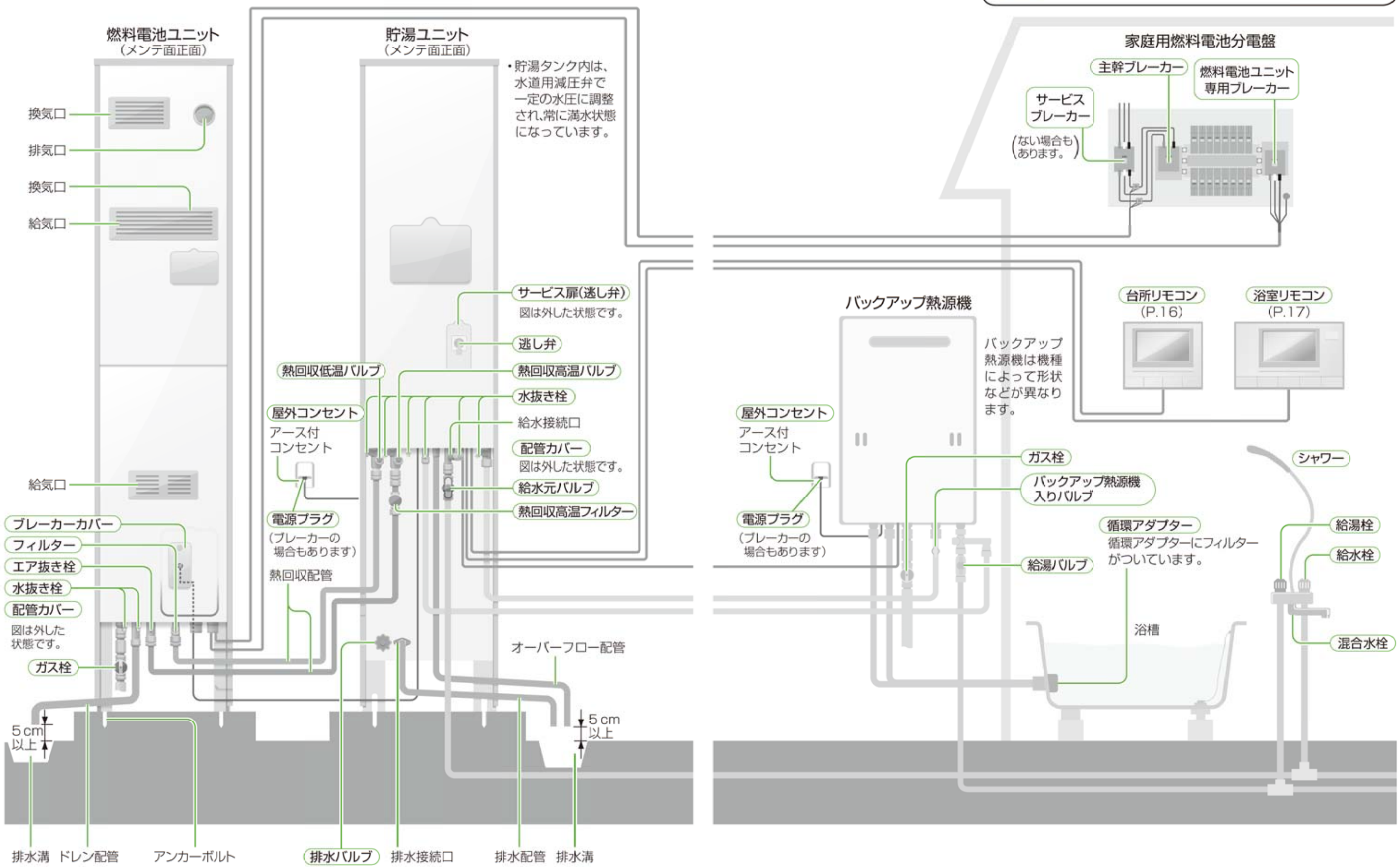
● **太陽光発電システムを併設する場合**
・太陽光電流センサーセット（別売品）を取り付け、W 発電設定を「入」にしてください。（P.60 ～ 61）
・太陽光発電ブレーカーは主幹ブレーカーより系統電力側に接続してください。

● **蓄電池システムを併設する場合**
・蓄電池を接続することで停電時にエネファームの発電を継続させる場合、出力電圧によっては停電時に発電しないことがあります。
・電流センサーの取り付け位置によっては、停電時に発電しないことや、学習機能の範囲が制限されることがあります。
・系統電力側に接続した蓄電池には、エネファームからの充電ができません。

各部の名前（システム全体（例））

標準施工例

- 図は概念図です。実際の配管やユニットの位置関係は、この図とは異なります。
- （枠）は、お客さまに操作いただく部分です。



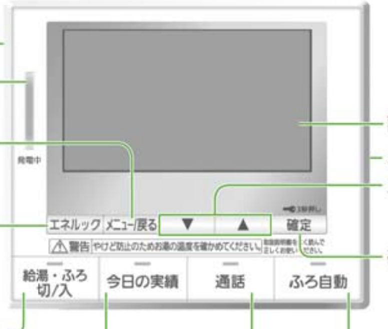
各部の名前

※ 増設リモコン（別売品）も接続可能です。

（お願い）

リモコンスイッチは強く押しすぎないでください。
（破損のおそれ）

台所・増設リモコン



スイッチ操作後に、操作手順や注意、確定などを音などでご案内します。

マイク（側面）

発電ランプ（青）
- 発電中に点灯。

メニュー／戻るスイッチ
- メニューを表示するとき。
- 前の画面に戻すとき。

エネルックスイッチ
- エネルック（発電や使用量に関する情報）を表示、設定をするとき。（P.44～53）
※台所リモコンのみ

給湯・ふろスイッチ・ランプ（赤）
- リモコンの表示を切／入します。

今日の実績スイッチ・ランプ（赤）
- 今日の実績をパッと見るとき。（P.47）※台所リモコンのみ

画面表示部（下記参照）

スピーカー（側面）

三角スイッチ
- 給湯温度や設定内容を変えるとき。

確定・ロックスイッチ
- 選んだ内容を確定するとき。
- 誤操作を防ぐためにロックするとき。（P.21）

通話スイッチ・ランプ（赤）
- 台所リモコンと浴室リモコンで通話するとき。（P.28）
※台所リモコンのみ

ふろ自動スイッチ・ランプ（赤）
- 設定した湯量と温度で、おふろにお湯をはるとき。（P.22）

浴室リモコン

下記以外のスイッチは、台所・増設リモコンと同様です。



スイッチ操作後に、操作手順や注意、確定などを音などでご案内します。

スピーカー

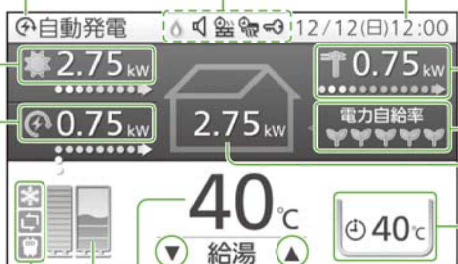
画面表示部
（下記参照）

優先スイッチ・ランプ（赤）
- 浴室でシャワーや給湯温度を変えるとき。（P.21）

マイク

追いだきスイッチ・ランプ（赤）
- 追いだきするとき。（P.26）

画面表示部



発電モード表示
- 自動発電
- 自動発電(W)
- 予約発電
- 発電切
- 手動発電

発電禁止設定をしているとき
- 自動発電
- 自動発電(W)
- 予約発電
- 手動発電

保護動作中 →P.37 参照
発電未接続 →燃料電池ユニットが未接続ですが、お湯は使えます。
メンテナンス中 →燃料電池ユニットがメンテナンス中です。

太陽光発電表示
（W発電設定「入」時（P.60～61）のみ表示）
- ・発電状態表示
  発電中
- ・発電電力表示
  10kW以上になると、表示は10kWで固定。

エネファーム発電表示
- ・発電状態表示
  待機中
  起動中
  発電中
  停止中

動作状態表示
- ・凍結予防などのために自動で行う動作を表示
  凍結予防動作中（P.65）
  水質維持のための沸き上げ中（P.37）
  マイコンメーター（ガスメーター）遮断回避中（P.37）

給湯設定温度

貯湯タンクの残湯量表示
発電中は貯湯タンク内でお湯が波打つ表示。

0L～20L　20L～50L　50L～80L　80L～110L　110L～134L　134L～147L

・お湯の温度が約45℃以上の残湯量を表示。

現在日付／時刻表示

優先表示
表示されたリモコンで給湯温度の変更が可能。（浴室リモコン「優先スイッチ」で切り替え）

売電電力/購入電力表示
売電電力
購入電力
状態表示します。
・購入電力は20kW、売電電力は10kW以上になると、表示はそれぞれ20.0kW、10.0kWで固定。

電力自給率表示
家庭の電力をエネファームと太陽光発電でどれだけ自給できているかを表示。自給率80%を超えると全目盛（）表示。目盛は20%単位（）で表示。

家庭の消費電力表示
家庭で消費している電力を表示。
・30.75kW以上になると、表示は30.75kWで固定。

ふろ状態表示
おふろの予約、お湯はり、保温、たし湯、追いだきの状態や、ふろの設定温度を表示。

燃焼表示
- バックアップ熱源機が燃焼動作中に表示。
- 貯湯タンクにお湯があっても、表示することがあります。

浴室モニター表示　浴室モニター禁止表示
- 浴室モニター中 または禁止中に表示。（P.29）
- 増設リモコンには浴室モニター表示はありません。

暖房中　浴室暖房中
暖房予約　浴室暖房予約
暖房中＋予約　浴室暖房中＋予約
- 暖房（別売品）、浴室暖房（別売品）の運転中や予約をしているときに表示。

ロック設定表示
- 誤操作を防ぐロック時に表示。（P.21）
- 給湯・ふろスイッチが「切」時にも表示。

（お知らせ）

- 太陽光発電の電力を表示するためには、太陽光電流センサーセット（別売品）が必要です。
- 電力などの表示値は、リモコンの機種によってずれが生じます。太陽光発電のリモコンなどと値がずれることがありますが、故障ではありません。
- リモコンは操作しないで、約60秒間放置すると元の画面に戻ります。
- 画面表示は、接続する機器や設定などによって異なります。

はじめて使うとき

ご使用前に以下の準備と確認が必要です。販売店（施工業者）が実施している場合は必要ありません。

準備と確認

■本体周辺で

1 貯湯ユニットの配管カバーを開ける

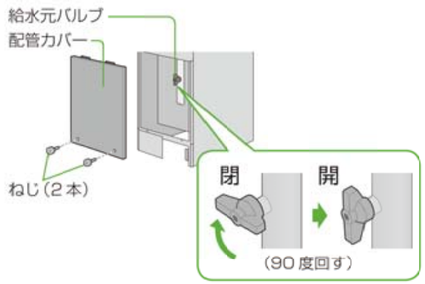
①ねじ（2 か所）を外す。
②配管カバーの底面に手をかけ、配管カバー下部を手前に引き出して外す。
③配管カバーを下にずらして、配管カバー上部を外す。

2 貯湯ユニットの給水元バルブを全開にする

3 バックアップ熱源機のバックアップ熱源機入りバルブと給湯バルブが全開になっていることを確認する

- バックアップ熱源機の取り扱いは、バックアップ熱源機の取扱説明書をご確認ください。

貯湯ユニット



4 給湯栓を開けて水が出ることを確認し、再度閉める

- 異音がしたり、水が出ない、または流量が安定しない場合は、「水抜き後、再使用するとき」（P.68 ～ 69）の操作をする。
- すべての給湯栓で、確認してください。



5 バックアップ熱源機の電源を「入」にし、ガス栓を全開にする

- バックアップ熱源機の取り扱いは、バックアップ熱源機の取扱説明書をご確認ください。

6 燃料電池ユニットの配管カバーを開ける

- ねじ（2 か所）を外す。

7 燃料電池ユニットのガス栓を全開にする

8 燃料電池ユニットの専用ブレーカーと、貯湯ユニットの電源（ブレーカーまたは電源プラグ）を「入」にする （P.14）

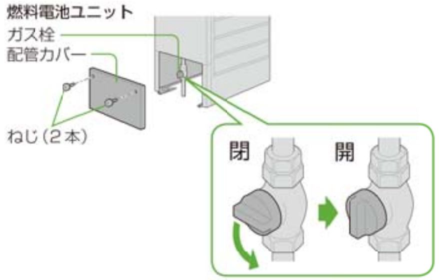
9 貯湯ユニット・燃料電池ユニットの配管カバーを元どおり取り付ける

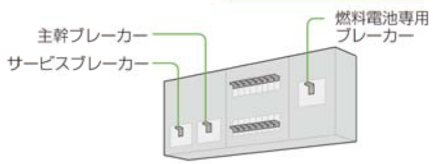
- それぞれのねじ2か所ずつを取り付ける。

10 契約アンペアを確認し、リモコンの設定が正しくなければ変更する （P.60 ～ 61）

- ブレーカーのつまみ付近にアンペア表示があります。

燃料電池ユニット





※サービスブレーカーはない場合もあります。

準備と確認（リモコン）

■台所リモコンで

1 日付 / 時刻設定を行う （P.56 ～ 57）

- 機器を正常に動作させるために、正しく日付／時刻を設定してください。
- 別売品である NAHEMS アダプタ 200H との接続時には自動で日付 / 時刻設定が行われます。



2 太陽光発電と接続している場合には、「その他設定」で「W 発電設定」を「入」に変更する （P.60 ～ 61）



3 発電モードを「自動発電」「自動発電（W）」または「予約発電」のいずれかに設定する （P.40 ～ 41）

- 自動発電、自動発電（W）の場合のみ、初めてお使いになる、約 1 週間は午前 8 時に発電を開始し、自動的に発電を終了します。
- 自動発電（W）は、W 発電設定が「入」時のみ表示します。



お湯を使う

台所や浴室などでお湯を出す基本操作です。

台所リモコン



(手順 1 の後の画面表示例)

1 「入」にする

2 温度を確認する

■温度を変えるとき

▼ ▲

- 浴室リモコンも同じ温度に変わる。
- 温度が変わらない場合は、浴室リモコンの優先スイッチを「切」にする。(P.21)

3 お湯を出す



お願い

- サーモスタットタイプ(自動温度調整装置)の混合水栓をご使用のときは、リモコンの給湯温度を水栓の設定温度より 5℃程度高くしてください。(水栓側で設定した温度にならないことがあるため)

お知らせ

- 給湯温度は、32、35、37 ～ 48(1℃刻み)、50、55、60℃に設定できます。
- 給湯温度の数値は目安です。季節や配管長さなどの条件により、実際の温度と異なることがあります。
- 低い給湯温度に設定した場合、水温が高いと、その温度にならないことがあります。
- 高温(50、55、60℃)の場合、温度表示の文字は黒色→赤色に変わり、音声案内や警告音でお知らせします。
- 貯湯タンクのお湯が少ない場合、またはお湯の温度が低い場合、バックアップ熱源機が燃焼動作し燃焼表示が点灯します。
- お湯を使用していないのに燃焼表示が点灯したり、貯湯タンクにお湯がたまっているのに、お湯を使用したときに燃焼表示が点灯することがあります。(P.76 ～ 77)
- 給湯温度が高温(50、55、60℃)の場合は、貯湯タンクにお湯があっても常にバックアップ熱源機が燃焼動作します。
- リモコンの給湯温度を 48℃以下にして使うと、貯湯タンクのお湯を優先して使うため、より省エネになります。



浴室リモコン



(手順 1 の後の画面表示例)

1 「入」にする

- 優先ランプも点灯する。
- すでに給湯・ふろスイッチが「入」のときは、優先 「入」にする。

2 温度を確認する

■温度を変えるとき

▼ ▲

- 台所リモコンも同じ温度に変わる。

3 お湯を出す



優先スイッチの使い方

浴室リモコンの優先スイッチが「入」のときは、台所リモコンで温度を変更することができません。台所リモコンで温度を変えるときは、浴室リモコンの優先スイッチを押して「切」にしておいてください。

誤操作を防ぐ(リモコンロック)



(台所リモコン)

(浴室リモコン)

勝手に温度を変えてしまうなどの誤操作を防ぐため、リモコン操作をロックすることができます。

確定 3 秒以上押す



■ ロックを解除するとき

→ もう一度 確定 を 3 秒以上押す

- ロック中でも、各スイッチの「切」操作はできます。
- 停電した場合は、ロックが解除されます。
- ロック操作したリモコンだけがロックされます。

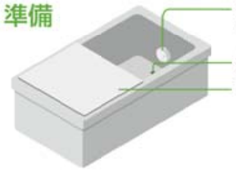


お湯をはる

設定した温度・湯量でお湯をはり、完了後は保温とたし湯を自動で行います。(おふろの接続が必要です)

台所・浴室リモコン

準備

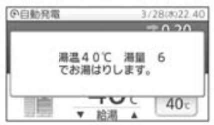


① 排水栓を閉める
② 循環アダプターのフィルターがついていることを確認する
③ ふたをする

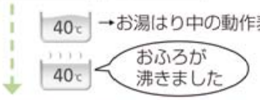


1 「入」にする

2 「入」にする

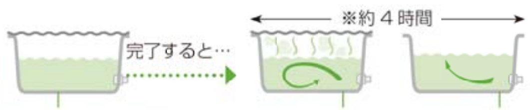


(手順 1 の後の画面表示例)



(自動保温・自動たし湯が始まる)

ふろ自動とは？



設定した温度と湯量でお湯をはります。

お湯が冷めないよう「自動保温」

お湯が減ると「自動たし湯」

※保温時間やたし湯の設定は変更できます。(P.58 ～ 59)

■中止するとき

→ ふろ自動 「切」に

■設定温度・湯量を変えるとき

→ P.25

■保温時間を変えるとき

→ P.58 ～ 59

お願い

- お湯はりを完了するまでに、ふろ自動スイッチの「切」「入」を繰り返さないでください。(お湯があふれる原因)

お知らせ

- ふろ自動を始めると、しばらくは残り湯量の確認のため、循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。
- 夏期など給水温度が高いときには、水を加熱しないで浴槽にはった後に追いだきをすることがあります。
- ふろ自動中に台所や浴室でお湯を使うと、ふろ自動を中断します。(お湯を使い終わると再開します)
- 音声案内設定時 (P.56 ～ 57) には、お湯はり開始時、お湯はり完了前、お湯はり完了時に音声やメロディーでお知らせします。
- 設定できるふろ温度の目安です。

33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	(℃)
ぬるめ							ふつう				あつめ					

(季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なることがあります)

- 循環アダプターより上まで残り湯があったり、ふろ設定湯量が少ない場合 (2 分以内にお湯はりが完了する) は、お湯はり完了前の音声案内は流れません。

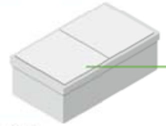
こんな使い方もできます！

残り湯を使ってお湯をはる



残り湯を沸かし直し、設定した湯量の不足分を自動でたして、設定した温度でお湯はりを行います。

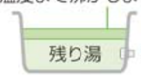
準備



1 「入」にする (給湯・ふろ 切/入)

2 「入」にする (ふろ自動)

不足分を自動でたして、設定した温度まで沸かします。



■中止するとき

→ ふろ自動 「切」に

お知らせ

- ふろ自動で設定した湯温・湯量になります。(P.25)
- お湯はり時間は、残り湯なしでお湯はりするよりも長くなることがあります。
  (残り湯の湯温によっても沸き上がり時間は異なります)
- 湯量の不足分をたさずに設定した温度まで沸かし直す場合は、追いだきをしてください。(P.26)

こんな使い方もできます！

お湯はりと同時に浴室を暖める



「ふろ自動連動」を設定しておくと、ふろ自動を行うときに、同時に浴室暖房も自動で入ります。

1 メニューを開く (メニュー/戻る)



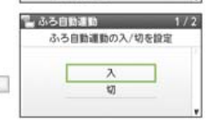
2 「暖房設定」を選び、確定する (▼ ▲ → 確定)



3 「ふろ自動連動」を選び、確定する (▼ ▲ → 確定)



4 「入」を選び、確定する (▼ ▲ → 確定)



■「切」にするとき

上記手順 1 ～ 3 の後、

4 「切」を選び、確定する (▼ ▲ → 確定)



お知らせ

- システムに対応した浴室暖房乾燥機を接続していないと設定できません。
- 暖房温度設定などは、浴室暖房乾燥機の取扱説明書をご確認いただき、事前に調節してください。
- 一度設定すると、次回以降もふろ自動と連動して、浴室暖房が入ります。
- ふろ自動連動で始まった浴室暖房は、ふろ自動スイッチが「切」になると連動して「切」になります。

お湯をはる（つづき）

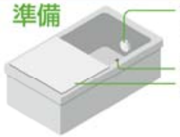
お湯はりを完了させたい時刻を予約して、自動でお湯はりします。

（台所リモコン）

お湯はりを予約する

ふろ予約

準備



①排水栓を閉める
②循環アダプターのフィルターがついていることを確認する
③ふたをする
④リモコンの日付／時刻表示を確認する
→正しくなければ日付／時刻を合わせる
（P.56～57）

1 メニューを開く
メニュー/戻る



2 「ふろ設定」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定



3 「ふろ予約」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定



4 お湯はり完了時刻を設定し、確定する
▼ ▲ → 確定

・１回押すと10分ずつ変わり、押し続けると早送りします。





■予約をやめるとき

上記手順 1～3 の後、

4 「ふろ予約解除」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

■予約時刻を変更するとき

上記手順 1～3 の後、

4 「ふろ予約時刻設定」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

5 予約時刻を設定し、確定する
▼ ▲ → 確定

お知らせ

・予約時刻は、現在時刻より30分以降に設定してください。30分以内にすると、予約時刻になってもお湯はりが完了しないことがあります。
・設定した温度・湯量でお湯はりします。温度や湯量は変更できます。（P.25）
・ふろ自動を行っているときは、ふろ予約はできません。
・ふろ予約中にふろ自動を「入」にすると、ふろ予約は解除され、ふろ自動を開始します。
・残り湯があるときや、お湯はり中にお湯を使ったときは、お湯はり完了時刻が遅くなる場合があります。
・ふろ予約でお湯はり完了時刻が前後した分だけ、ふろ保温時間も設定時間と異なる場合があります。

自動でお湯をはるときの温度や湯量を変更します。



（台所リモコン）



（浴室リモコン）

ふろ自動のふろ温度やふろ湯量設定を変える

ふろ温度設定
ふろ湯量設定

1 「入」にする
給湯・ふろ 切／入



2 メニューを開く
メニュー/戻る



3 「ふろ設定」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定



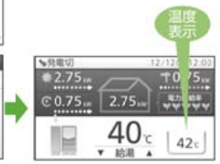
ふろ温度設定を変える

4 「ふろ温度設定」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定



5 お好みの温度を選び、確定する
▼ ▲ → 確定





ふろ湯量設定を変える

上記手順 1～3 の後、

4 「ふろ湯量設定」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定



5 お好みの湯量を選び、確定する
▼ ▲ → 確定



・設定できるふろ湯量は最高「12」から最低「1」までです。（浴槽の形状などによって、実際の水位とは異なります）

湯はり湯量		水位（目安）
12	32 cm	
11	30 cm	
10	28 cm	
9	26 cm	
8	24 cm	
7	22 cm	
6	20 cm	
5	18 cm	
4	16 cm	
3	14 cm	
2	12 cm	
1	10 cm	



□＝工場出荷時

追いだきする

お湯はり後、追いだきすることができます。(おふろの接続が必要です)

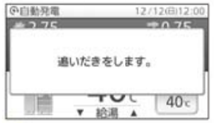
浴室リモコン

1「入」にする

2「入」にする



(給湯・ふろスイッチ「入」時の画面表示例)



→追いだき中の動作表示

追いだき完了後、
元の画面に戻る

■中止するとき

→ 追いだき 「切」に



追いだき時のふろ温度について

追いだきスイッチを「入」にすると、5分間※追いだきして、ふろ設定温度以上にならなかったときは、そのままふろ設定温度まで追いだきします。追いだきはふろ設定温度にかかわらず5分間※行うので、ふろ設定温度以上になる場合があります。

※バックアップ熱源機が暖房機能をもたない機種の場合は1分間

お願い

- 追いだきを何度も繰り返さないでください。(最高約 50℃になり、やけどの原因)

お知らせ

- お湯はり中は、追いだきできません。
- お湯の量が循環アダプター上部より 5 cm 以上必要です。
- 循環アダプターの上までお湯(水)が入っていないときに、追いだきを押すと、浴槽に約6 Lお湯はりをした後、自動運転に切り替わります。このとき追いだきランプは消灯してふろ自動ランプが点灯します。
- 浴槽に6 Lお湯はりして水位が循環アダプターの上まで達し、機器が「残湯がある」と判断した場合は追いだき運転に入ります。
- 故障表示「632」が点滅した場合は、給湯・ふろスイッチを「切」にしてから再度「入」にし、排水栓を閉めていることを確認し、浴槽にお湯(水)をたしてから、再度追いだきスイッチを押してください。



お湯 / 水をたす

お湯はり後、お湯や水をたして、湯量や温度を調節することができます。(おふろの接続が必要です)



(浴室リモコン)

お湯をたす

たし湯

ふろ温度設定のお湯を、約 20 L たします。

1「入」にする

給湯・ふろ 切/入

2 メニューを開く

メニュー/戻る

3「たし湯」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



■中止するとき

→ 確定 押す

お知らせ

- たし湯温度や湯量は変更できません。
- たし湯中に台所やシャワーなどでお湯を使うと、たし湯を中断します。お湯を使い終わると再開します。
- お湯はり中は、たし湯できません。



(浴室リモコン)

水をたす

たし水

水を、約 10 L たします。

1「入」にする

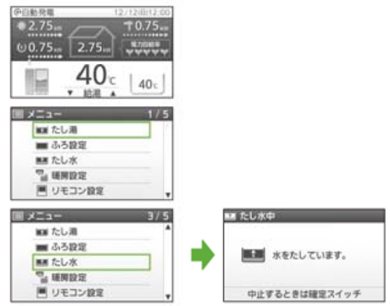
給湯・ふろ 切/入

2 メニューを開く

メニュー/戻る

3「たし水」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



■中止するとき

→ 確定 押す

お知らせ

- 水量は変更できません。
- たし水中に台所やシャワーなどでお湯を使うと、たし水を中断します。お湯を使い終わると再開します。
- お湯はり中は、たし水できません。

通話する

台所と浴室で、30 秒間交互に会話できます。

台所・浴室リモコン



30 秒間、交互に
会話できます
(同時に話せません)



1 「入」にする

[通話]

2 (呼び出し音が終わったら)
話しをする

・30 秒後、自動的に通話は終了します。
(5 秒前に通話ランプ点滅)

■ **通話音量を変えるとき**

→ 通話中に [▼][▲] で変更する

・レベル 1 (小)、2 (中)、3 (大) で変更できます。
・変更したリモコンのみ、音量が変わります。
・通話音量を変えるとモニター音量も変わります。(P.29)



■ **手動で通話を終了するとき**

→ [通話]「切」に

こんな使い方もできます！
音声を片方から相手に送る(送話)



(台所リモコン) (浴室リモコン)

片方から話をする「送話」ができます。

[通話] 押しながら、話す。

■ **終了するとき**

→ [通話]「切」に
(通話スイッチを長押ししている
手を離すと、交互に話せる通話に戻ります)



(台所リモコンで送話時
の画面例)



(浴室リモコンで受話時
の画面例)

・通話中に長押ししても、送話はできます。
・送話中は通話ランプが点滅します。
・送話側は " おふろへ話せます。" または " 台所へ話せます。" を表示します。
・受話側は " おふろから話します。" または " 台所から話します。" を表示します。
・送話音量は、通話音量と同じです。(変更するときは、受話側で行います)

お知らせ

・相手が話しをしているときは、こちらの声は相手に聞こえません。
・通話中、「ザザッ」という音がすることがありますが、故障ではありません。
・テレビ・シャワーなどの音が大きい場合は、その音を拾って通話が途切れることがあります。
・通話中に優先を切り替えて、給湯温度が高温に変更されたときは、音声案内「蛇口、シャワーから熱いお湯が出ます。ご注意ください。」や警告音などでお知らせします。この間、通話はできません。

浴室の様子を聞く / 聞かれないようにする

台所から浴室の音を聞いて様子を確認することができます。また聞かれないようにすることもできます。



(台所リモコン)

浴室の様子を聞く

浴室モニター

1 メニューを開く

[メニュー/戻る]



2 「浴室モニター」を選び、確定する

[▼][▲] → [確定]



3 モニター音量を選び、確定する

[▼][▲] → [確定]

・レベル 1 (小)、2 (中)、3 (大) で変更できます。



※工場出荷時は「2」

4 浴室の様子を聞く

・約 30 分後、自動的に終了します。

■ **解除するとき**

上記手順 1 ～ 2 の後、

3 「浴室モニター解除」を選び、確定する

[▼][▲] → [確定]

■ **音量を変えるとき**

上記手順 1 ～ 2 の後、

3 「浴室モニター音量」を選び、確定する

[▼][▲] → [確定]

4 お好みの音量を選び、確定する

[▼][▲] → [確定]

お知らせ

・浴室モニター音量を変えると通話音量も変わります。
・浴室モニター中「ザザッ」という音がすることがありますが、故障ではありません。
・台所リモコンでエネルック操作中や「今日の実績」を確認中は、浴室モニターは中止します。
・浴室リモコンでエネルックや今日の実績操作中は、台所リモコンも浴室モニター禁止が表示され、浴室モニターはできません。
・約 30 分後、自動的に終了します。



(浴室リモコン)

浴室の様子を聞かれないようにする

浴室モニター禁止

1 メニューを開く

[メニュー/戻る]



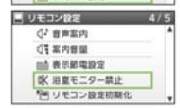
2 「リモコン設定」を選び、確定する

[▼][▲] → [確定]



3 「浴室モニター禁止」を選び、確定する

[▼][▲] → [確定]



4 「する」を選ぶ

[▼][▲] → [確定]



■ **解除するとき**

上記手順 1 ～ 3 の後、

4 「しない」を選び、確定する

[▼][▲] → [確定]

お知らせ

・モニター禁止中でも通話はできます。(P.28)
・約 30 分後、自動的に終了します。

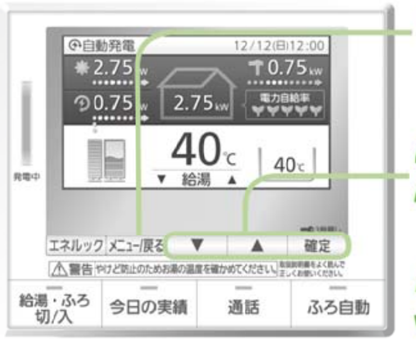
浴室暖房する

浴室暖房乾燥機の運転を「切」「入」できます。（浴室暖房乾燥機の接続が必要です）

台所・浴室リモコン

準備

①浴室のドアと窓を閉める。
②浴室暖房乾燥機の温度などを調節する。（浴室暖房乾燥機のリモコンで行う）



（給湯・ふろスイッチ「入」時の画面表示例）

1 メニューを開く

メニュー/戻る



2 「暖房設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



3 「浴室暖房運転」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



4 「入」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



- 浴室暖房乾燥機で設定した運転時間がたつと、自動的に暖房が止まります。



■浴室暖房運転をやめるとき

上記手順 1 ～ 3 の後、

4 「切」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

- 浴室暖房乾燥機で、暖房を「切」にしても停止できます。

お願い

- **浴室暖房乾燥機のリモコンでも操作できます。浴室暖房乾燥機の取扱説明書に従って操作してください。**
- 浴室暖房乾燥機の「安全上のご注意」や調節方法などについては、浴室暖房乾燥機の取扱説明書でご確認ください。

お知らせ

- 給湯・ふろスイッチの「切」「入」に関係なく、暖房できます。
- バックアップ熱源機には暖房機能を持たない機種もあります。
- 浴室暖房をすると、浴室暖房中表示と燃焼表示が点灯します。
- このリモコンでは、浴室暖房乾燥機の暖房運転の「入」「切」のみ行うことができます。暖房温度の調節やその他の設定は、浴室暖房乾燥機のリモコンで行ってください。
- このリモコンで浴室暖房乾燥機の暖房運転を「入」にした場合、ワイヤレスタイプの浴室暖房乾燥機のリモコンには何も表示されず「切」のままになっています。温度の調節などを行いたい場合は、浴室暖房乾燥機のリモコンで行ってください。

お好みの時間を予約して、浴室暖房を運転します。



（台所リモコン）



（浴室リモコン）

浴室暖房を予約する

浴室暖房予約

準備

①浴室のドアと窓を閉める。
②リモコンで現在の時刻表示を確認する→正しくなければ日付／時刻を合わせる（P.56～57）
③浴室暖房乾燥機の温度などを調節する。（浴室暖房乾燥機のリモコンで行う）

1 メニューを開く

メニュー/戻る



2 「暖房設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



3 「浴室暖房予約」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



4 開始時刻を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

- 1 回押すと 10 分ずつ変わり、押し続けると早送りします。
- 前回の予約時刻でよければ、そのまま 確定 押す。



■予約をやめるとき

上記手順 1 ～ 3 の後、

4 「浴室暖房予約解除」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

■予約時刻を変更するとき

上記手順 1 ～ 3 の後、

4 「浴室暖房予約時刻設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

5 予約時刻を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

お知らせ

- 冬期の一番ぶろのときなど、浴室が冷えている場合は、あらかじめ入浴前に暖房をしておくことで入浴時に感じる肌寒さをやわらげることができます。
- 浴室暖房は入浴約 30 分前から行うことをおすすめします。
- 浴室の種類や大きさ、気温、湿度などの条件により、浴室が暖まる時間が異なります。暖房時間は浴室暖房乾燥機のリモコンで調節してください。
- ふろ自動でおふろを沸かしたときに、同時に浴室暖房を開始するように設定することもできます。(P.23)

暖房する

- ●温水暖房端末の暖房運転の開始・停止をすることができます。(温水暖房端末の接続が必要です)
- ●温水暖房端末の「安全上のご注意」や調整方法などについては、温水暖房端末の取扱説明書でご確認ください。
- ●バックアップ熱源機には暖房機能を持たない機種もあります。
- ●暖房をすると、燃焼表示が点灯します。
- ●温水暖房端末の操作だけで暖房を開始する機器をお使いの場合は、暖房する部屋の温水暖房機器の運転スイッチを「入」にしてください。
- ●温水暖房端末の操作だけで暖房を開始しない機器をお使いの場合は、下記の手順で操作してください。

台所リモコン



(給湯・ふろスイッチ「入」時の画面表示例)

1 メニューを開く

メニュー/戻る



2 「暖房設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



3 「暖房運転」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



4 「入」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



・暖房中表示が点灯する。

5 温水暖房端末の操作をして「入」にする



■暖房運転をやめるとき

上記手順 **1** ～ **3** の後、

4 「切」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

(温水暖房端末側も「切」にしてください)

(お知らせ)

・バックアップ熱源機によっては、給湯と暖房を同時に使用すると温風温度が変動したり、若干低くなったりすることがあります。

こんな使い方もできます！

静音で暖房運転する



(台所リモコン)

暖房の音が気になるときは「静音」の設定ができます。

1 メニューを開く

メニュー/戻る



2 「暖房設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



3 「静音運転設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



4 「入」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



■静音運転をやめるとき

上記手順 **1** ～ **3** の後、

4 「切」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

(お知らせ)

・通常、暖房運転開始時は、最大能力で運転しますが、「静音運転設定」を「入」にして暖房能力を少し下げることで、熱源機の運転音を下げることができます。この場合、暖房能力が低下するため、暖房を入れてすぐの暖まりかたが弱くなります。
・冷え込みが厳しいときは、暖まりにくいことがあります。

暖房する（つづき）

お好みの時間帯を予約して、暖房を運転します。
（温水暖房端末の操作だけでは暖房が開始しない機器の場合）



（台所リモコン）

暖房を予約する

暖房予約

準備

①リモコンで現在の時刻表示を確認する。
→正しくなければ日付／時刻を合わせる。
（P.56～57）

②暖房運転を開始するために必要な温水暖房端末の操作を行う。

1 メニューを開く

メニュー/戻る



2 「暖房設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



新規に予約する

3 「暖房予約時刻設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



4 「追加設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



5 開始時刻を選び、確定する（例：6：00）

▼ ▲ → 確定



例：新規に 6:00～12:00 の時間帯を予約するとき

6 終了時刻を選び、確定する（例：12：00）

▼ ▲ → 確定

- 1 回押すと 1 時間ずつ変わります。



7 「する」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



8 「設定終了」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



9 ①左記の手順 1～2 を再度行う
②「暖房予約」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



10 「入」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



予約を解除する

3 「暖房予約」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



4 「切」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



設定を変更する（追加・削除）

3 「暖房予約時刻設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



4 「追加設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



5 「暖房切」または「暖房入」を選び、確定する（例：暖房切）

▼ ▲ → 確定



例：6:00～12:00 の時間帯を削除するとき

6 変更開始時刻を選び、確定する（例：6：00）

▼ ▲ → 確定



7 変更終了時刻を選び、確定する（例：12：00）

▼ ▲ → 確定

- 1 回押すと 1 時間ずつ変わります。



8 「する」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

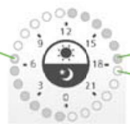


9 「設定終了」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



■ 予約時刻設定画面の見方



○予約追加を設定中に選択した時間帯を示します
◉予約削除を設定中に選択した時間帯を示します
●予約している時間帯を示します
○予約していない時間帯を示します

お知らせ

- 複数の時間帯を設定できます。
- 予約解除をしない場合、毎日同じ時刻に暖房します。

発電について

エネファームの発電について事前に知っておいていただきたい内容です。
発電モードを選ぶ操作については、P.40 ～ 41 をご確認ください。

発電モードの選び方 発電モード設定

＜発電モード＞ ＜特長＞ ＜お知らせ＞

おまかせで発電する

自動発電

自動発電（W）
（W 発電設定「入」時（P.60 ～ 61）のみ表示）

＜特長＞

- お客さまの約 1 か月の生活パターンを学習して予測をもとに運転パターンを決めるので、省エネ性が最も高くなります。
- 太陽光発電を設置している場合（W 発電設定「入」時）は、省エネ性を重視した自動発電と、売電量も考慮した自動発電（W）のどちらかを選んでください。

省エネ性を重視したい!
→自動発電を選ぶ

太陽光発電を設置していても、自動発電を選ぶことができます。



売電でおトク!
→自動発電（W）を選ぶ

売電量が増えるように昼間の時間帯を優先しながら、省エネ性が高くなるように運転パターンを決めています。



＜お知らせ＞

- 使用開始後約 1 週間は午前 8 時に発電を開始し、自動的に発電を停止します。
- 実際の生活パターンが予測の生活パターンと異なる場合は、運転パターンを一度決定した後でも発電開始時刻や発電終了時刻を修正することがあります。
- 自動発電（W）では、太陽光発電が発電しない雨や曇りの日にも昼間を優先して発電します。

開始時刻を決めて発電する

予約発電

＜特長＞

- 発電開始時刻を予約して使うと発電可能な時間まで運転し、自動的に停止します。（一度設定すると毎日予約時刻に発電を開始します）



＜お知らせ＞

- 発電禁止設定（P.42 ～ 43）の開始時刻が近い場合、発電時間が短時間となることがあります。
- 起動にかかる時間によって発電開始時刻がずれることがあります。
- 貯湯タンクのお湯が満タンの場合や、停止後 4 時間以内の場合などは、設定した発電開始時刻になっても発電しません。
条件によってはその日はそのまま発電しない場合があります。発電させたい場合は「手動発電」もお試しください。

発電を止める

発電切

＜特長＞

- 旅行などで長期間発電させないときや、工事やメンテナンスで短時間発電を止める必要があるときに、発電を停止できます。



＜お知らせ＞

- 下記のケースで短時間（目安 24 時間以内）発電を停止する必要がある場合は、「発電切」にしてください。
  - お客さま宅で電気・ガスなどの工事をする場合
  - 燃料電池ユニットから 1.5 m 以内で油性塗料を用いた壁などの塗装および塗装乾燥をする場合
  - 計画的な停電・断水・ガス供給停止が分かっている場合
  - 電気・設備点検をする場合
  - 機器のメンテナンスをする場合
- 発電を再開するときは、「自動発電」、「自動発電（W）」、「予約発電」のいずれかを選んでください。
- 10 日以上発電切の状態が続くと「発電切の状態が続いています。発電するときは、発電設定を変更してください。」と表示します。

今すぐ発電を始めるとき /手動発電をやめるとき

手動発電

（上記の自動発電 / 自動発電（W）/ 予約発電のときに選択できます）

＜特長＞

- ふだんと違う使い方をして、急にお湯や電気の使用量が増えるときなど、必要なとき強制的に発電させることができます。
- 発電可能な時間まで運転すると自動的に停止し、元の発電モードに戻ります。

＜お知らせ＞

- 貯湯タンクのお湯が満タン、発電禁止時間帯（P.42 ～ 43）、保護動作中、メンテナンス中、発電制限中（1 日に複数回の発電など）の場合には、「発電制限のため手動発電することができません。」と表示します。
- 手動発電をやめると元の発電モードに戻るため、継続して発電する場合があります。発電を停止させたいときは、「発電切」を選んでください。

さらに詳しく知る！ 発電について

- 発電は1日1回です。発電停止後、4時間以上の停止時間があります。1日の最長発電時間は 20 時間です。
- 貯湯タンクにお湯が満タンになると発電を停止します。
- 発電したくない時間帯を設定できます。（P.42 ～ 43）



- 水温やお湯の使用量、さらに省エネ性の判断で、季節によって実際の発電時間は変動します。



- 起動から発電開始まで約 50 分かかります。
発電切で発電を停止してから待機状態になるまで、最長約 90 分かかります。（通常運転時の停止の場合は約 20 分です）

保護動作とは？

- 機器を正常に動作させるために、保護動作を行うことがあり、その間は発電を停止します。
  → 保護動作による発電の停止工程中、あるいは発電の予定時間になっても発電を開始できないときにはリモコンに「□保護動作中」を表示します。（P.16）

□が無色 ： 一定時間お湯を使用していないとき
⇒ お湯を一定量（10 L程度）使ってください。保護動作中の表示が消え、貯湯タンクが満タンになるまで沸き上げます。沸き上げ中はリモコンに動作状態表示 します。（P.16）なお冬期などは、満タンになるまで長時間かかることがあります。満タンになったお湯を使って減らすと、運転計画に従って次回の発電を開始します。（すぐに発電を開始しないことがありますが、故障ではありません。）

□が黒色 ： 家庭用の電気使用量が多く、ブレーカーの遮断回避を行ったとき
⇒ 契約アンペアが正しく設定できているか確認してください。（P.60 ～ 61）
頻発するときは、容量の大きいブレーカーに交換してください。

□が黄色 ： 機器の温度が運転可能温度を超えているとき
⇒ 温度が下がるのを待ってください。

□が青色 ： 1 日 1 回の発電後、4 時間停止をしているとき
⇒ 4 時間以上経過するのを待ってください。

□が赤色 ： 発電停止させることでマイコンメーターの遮断回避を行ったとき（191-PA02 のみ表示なし）
⇒ 次回の発電を待ってください。

マイコンメーター遮断回避とは？

- 機器が連続して発電していると、ガスが一定量流れ続けることをマイコンメーターが検知し、ガスの供給を自動的に停止（メーター遮断）します。メーター遮断を回避するために、約10時間発電を継続すると、バックアップ熱源機が約 2 分間燃焼動作し一時的にガスの流量を増加させることがあります。
この遮断回避動作はリモコンに動作状態表示します。（P.16）遮断回避動作が機能しなかった場合、メーター遮断を防ぐため発電を停止します。

発電について（つづき）

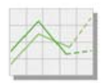
さらに詳しく知る！ 学習・予測機能について

■ 学習機能

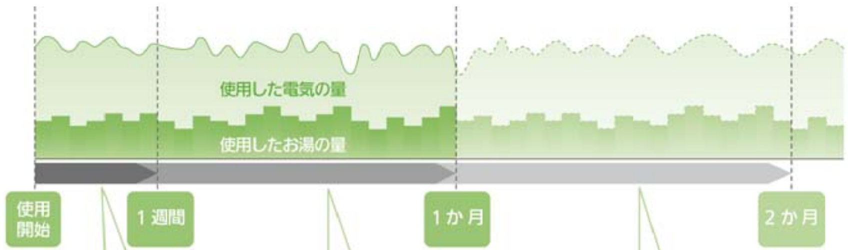


ご家庭で使用したお湯と電気の量およびその時刻から、およそ1か月間の生活パターンを機器が記憶し、**生活パターンを学習**します。

■ 予測機能



学習した生活パターンの規則性から、未来の**生活パターンを予測**します。その生活パターンに基づき運転パターンを決定します。なお、実際のお湯や電気の使用量から1時間に数回予測を修正するため、運転パターンを変更する場合があります。



午前8時※に発電を開始し、自動的に発電を停止します。

※ 午前8時から発電する場合は、午前7時頃から起動します。

使用開始からの生活パターンを学習し、予測した生活パターンに基づいて運転パターンを決定します。

およそ1か月前からの生活パターンを学習し、予測した生活パターンに基づいて運転パターンを決定します。

さらに詳しく知る！ 発電によって貯まるお湯の量

発電によって、貯まるお湯の量（参考）は以下の通りとなります。なお放熱などは考慮されておらず、設置条件などによっても異なります。
なお貯湯タンク満タンは、147 L になります。

		発電電力 0.20 kW			発電電力 0.75 kW		
		水温 5℃	水温 15℃	水温 30℃	水温 5℃	水温 15℃	水温 30℃
発電時間	5 時間	15 L	20 L	30 L	85 L	105 L	満タン
	10時間	35 L	40 L	60 L	満タン	満タン	満タン

上手なエネファームの使い方の例

自動発電や自動発電（W）の場合、エネファームは自動で省エネとなる運転をしますので、普段どおりの生活をお過ごしください。さらに省エネ性を高めたいときなどは、以下の上手な使い方の例を参考にしてください。

こんなとき	上手な使い方の例
さらに省エネ性を高めたいとき 	毎日の生活リズムが大きく変わらない使い方をすると、学習機能のメリットが最大限に生かせ、省エネ性が向上します。
旅行などで不在（目安 24 時間以上）のとき 	発電切（P.40 ～ 41）にして、発電を停止しておくと、無駄なエネルギー消費をなくすことができ、省エネ性が向上します。 ご帰宅後、発電切にする前と運転パターンが大きく変わることがありますが、故障ではありません。運転パターンが大きく変わった場合は、一時的に予約発電や手動発電（P.36 ～ 37）もお試しください。
ふろ予報の時刻とお客さまがおふろのお湯はりをしたい時間が異なるとき 	ふろ予約をできるだけ早く（例えば、夜に入浴される場合は朝のうちに）設定すると、予測を修正して運転パターンを変更し、省エネ性が向上します。
生活リズムが不規則なご家庭では 	予約発電、手動発電をおすすめします。
発電を控えたいとき 	発電禁止時間帯を設定（P.42 ～ 43）すると、その時間は発電しません。

発電する

発電モードは、省エネ性の高い「自動発電」「自動発電W」をおすすめします。(工場出荷時は「発電切」に設定しています)

1 (台所リモコンのみ)
メニューを開く
メニュー/戻る



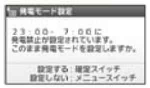
2 「発電設定」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定



3 「発電モード設定」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定



- 発電禁止設定(P.42～43)していて、発電モード設定選択した場合、右記画面が表示されます。



■設定するとき
→ 確定 を押し、手順 4 にすすむ
■設定しないとき
→ メニュー/戻る を押す

4 <発電モード>を選び、確定する
▼ ▲ → 確定

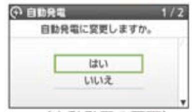


(つづきは、右表へ)

<発電モード>

おまかせで発電する
自動発電
自動発電(W)
(W発電設定「入」時(P.60～61)のみ表示)

5 「はい」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定



(自動発電の画面)



(自動発電(W)の画面)

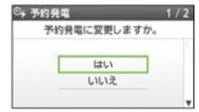
開始時刻を決めて発電する
予約発電

5 発電の開始時刻を選び、確定する
▼ ▲ → 確定



- 1回押すと30分ずつ進み、長押しで早送りします。
- 後で予約を確認するときも、この画面で確認できます。

6 「はい」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定



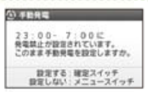
発電を止める
発電切

5 「はい」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定



■ 今すぐ発電を始める / 手動発電をやめるとき
手順 3 で「手動発電」を選び、確定する

- 発電禁止設定をしている時刻に手動発電を行う場合、右記画面が表示されます。



■手動発電を行う場合
→ 確定 を押し、手順 4～5を行う
■手動発電を行わない場合
→ メニュー/戻る 押す

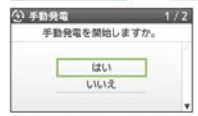
今すぐ発電を始めるとき / 手動発電をやめるとき
手動発電
(上記の自動発電/予約発電のときに選択できます(P.36))

今すぐ発電を始めるとき

4 「入」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定



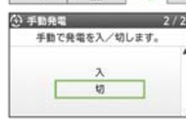
5 「はい」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定



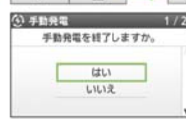
- 実際に発電が開始するまで、起動に約50分程度かかります。

手動発電をやめるとき

4 「切」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定



5 「はい」を選び、確定する
▼ ▲ → 確定



(お知らせ)
- 機器を正常に動作させるために保護動作を行うことがあり、その間は発電を停止させます。(P.37)

発電する（つづき）

夜間など発電したくない時間帯に、禁止時刻を設定することができます。（最短 30 分間、最長 14 時間）



（台所リモコン）

発電禁止時刻を設定する

発電禁止設定

1 メニューを開く

メニュー/戻る



2 「発電設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

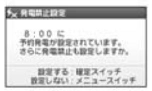


3 「発電禁止設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



・予約発電が設定されている場合、下記画面が表示されます。



■設定する（発電禁止設定する）とき

→ 確定 を押し、手順 **4** にすすむ

■設定しないとき

→ メニュー/戻る 押す

新規に設定する

4 禁止開始時刻を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



（例：23：00）

・1 回押すと 30 分ずつ変わり、押し続けると早送りします。

5 禁止終了時刻を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



（例：8：30）

・1 回押すと 30 分ずつ変わり、押し続けると早送りします。

6 「はい」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



設定を解除する

4 「発電禁止設定解除」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



5 「はい」を選び、確定する

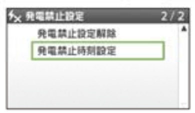
▼ ▲ → 確定



設定を変更する

4 「発電禁止時刻設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



5 禁止開始時刻を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



（例：23：00）

・1 回押すと 30 分ずつ変わり、押し続けると早送りします。

6 禁止終了時刻を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

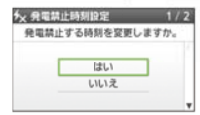


（例：8：30）

・1 回押すと 30 分ずつ変わり、押し続けると早送りします。

7 「はい」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



お知らせ

・発電禁止時刻を設定すると、禁止開始時刻までに発電を終了して、停止工程に入ります。また禁止終了時刻以降に起動を始めます。

「エネルック」について

「エネルック」とは、発電などに関する情報や、電気・ガス・お湯・光熱費などの、目安の使用量や使用料金などを
リモコンで見る機能です。台所リモコンでも、浴室リモコンでも見ることができます。
エコ貢献度をさらに高めるためには、「上手なエネファームの使い方の例」(P.39) を参考にしてください。

つくった量をチェックする！

「発電」「W 発電」





(P.48～49)

減らした CO_2 など
をチェックする！

「エコ」



(P.48～49)



使った量をチェックする！

「使用量」





(P.50～51)



今日の情報をパッと見たいときは・・・

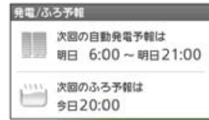
「今日の実績」



(詳しい使い方は、P.47)

運転予定をチェックする！

「お知らせ」

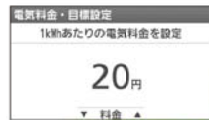




(P.50～51)

エネルックの設定を変えるときは・・・

「エネルック設定」





(P.52～53)

エネファームから

「年に一度のお知らせ」



- 1年毎に9年目まで表示します。
- 確定 を押すと表示は元の画面に戻ります。

お知らせ

- 確定 を押すまで表示し続けます。
- 省電力設定中には表示しませんが、スイッチを操作すると表示します。

さらに詳しく知る！

エネルック表示内容の算出方法

■使用量や使用料金の表示は目安です

●実際に請求される使用量や使用料金とは異なります。
●リモコンに表示される内容は

電気

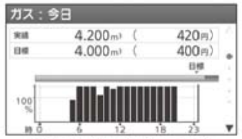
・エネファームで使用した分だけでなく、お客さまが使用したすべての使用量を表示します。
・エネファームや太陽光発電システムで発電した分も含みます。



（今日の電気料金表示例）

ガス

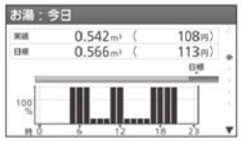
・エネファームで使用した分だけを表示します。
・ガスファンヒーターやガスコンロなどで使用した分は含みません。



（今日のガス料金表示例）

水・お湯

・エネファームで出湯した分だけ表示します。
・エネファームとつながっていない水栓やトイレなどで使用した分は含みません。



（今日のお湯（水道）料金表示例）

・給湯・ふろスイッチ「切」時に給湯栓などのお湯側から水を出した場合、貯湯ユニット内を通るので、「お湯使用量」に積算します。
・ガス量水量測定ユニット(別売品)を接続すると、家全体のガス・水道の使用量を表示することができます。
→実際の使用時刻よりも遅い時間帯に使用量が算入されることがありますが、これはメーターの発信機の性質によるもので、異常ではありません。
・計算に使用する数字の桁数が異なるため、画面により表示が異なることがあります。(毎月初めの1日の「今日」と「今月」の値など)

■水道、電気、ガスなどの単位料金は使用量や地域で異なります

・単位料金は、お住まいの地域などによっても異なりますが、「エネルック設定」で料金単価を設定することもできます。
(P.52～53)



■CO_2 排出量の削減を「ブナの木」で表現しています

・CO_2 排出量をどれだけ削減できたかを、ブナの木で表します。
「木1本＝ブナの木が1年で平均して CO_2 約5kgを吸収する」として計算したものです。
(実際のブナの木が吸収する量とは異なります)



・電気の CO_2 原単位はマージナル係数(火力発電所の CO_2 排出係数)を使用し、0.69 kg-CO_2/kWh で計算しています。
(中央環境審議会地球環境部会 目標達成シナリオ小委員会中間取りまとめ(平成13年)より)

今日の実績を見る （エネルック）

今日の実績をパッと見ることができます。



(給湯・ふろスイッチ「入」時の画面表示例)

1 「今日の実績」を開く

[今日の実績]



(W発電設定「入」時)

または



(W発電設定「切」時)

約2秒で自動的に画面が切り替わります。

今日のエネファーム



エネファームでつくった、今日の電気の
■発電量
■自給率

エネファームでつくった、今日のお湯の
■給湯量
■自給率

・給湯量は水道水の毎月の水温から通年40℃で給湯する条件で計算しています。
(東京都水道局の水温公表値(平成16年度～21年度の平均値))

[今日の実績] 押す

今日の太陽光発電

・太陽光発電に接続していないときは、表示しません。(W発電設定「入」時(P.60～61)のみ表示)



太陽光でつくった、今日の電気の
■発電量
■売電量
■W発電の効果(売電量のうち、エネファームの発電により増えた量)

W発電効果　売電　発電
それぞれの割合を表示

[今日の実績] 押す

今日のエコ貢献



エネファームと太陽光発電による、今日の CO_2 削減量を「ブナの木」で表現し、さらに
■レジ袋の枚数　→ レジ袋をもらわない
■乗用車の走行距離　→ 乗用車の使用を控える
■エアコンの運転時間　→ エアコンの運転を控える
などのエコ活動に換算して
エコ貢献度を表示

・レジ袋は、37.24 g-CO_2/枚として計算((社)プラスチック処理促進協会より)
・乗用車は、200 g-CO_2/km として計算((財)省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典」(2012年度版)、環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」より)
・エアコンは 115.23 g-CO_2/時間として計算(日本冷凍空調工業会ホームページより)

[今日の実績] 押す

元の画面に戻る

エネルックで見る - ① エネルック

エネルックで、CO_2 削減量や使用量などを見ることができます。

1 エネルックを開く

エネルック



2 見たい＜項目＞を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



（つづきは、右の表をご覧ください）

使用量 （P.50～51）
お知らせ （P.50～51）
エネルック設定 （P.52～53）

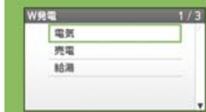
3 ＜詳細項目＞を選び､確定する

▼ ▲ → 確定

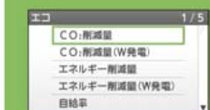
4 ＜詳しい内容＞を見る

▼ ▲

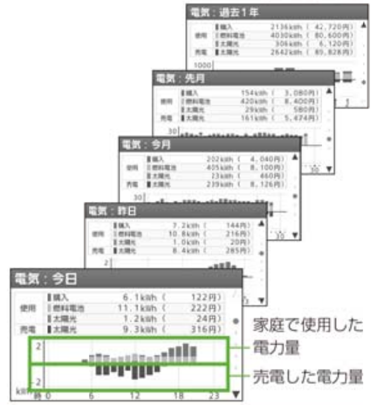
＜項目＞	＜詳細項目＞	＜詳しい内容＞
電気やお湯のつくった量を見る W 発電 ／ 発電 ・W 発電設定「入」時（P.60～61）には「W 発電」が「切」時には「発電」が表示されます。	**電気** 発電 / 売電※1 / 購入量を見るとき	今日↔昨日↔今月↔先月↔過去 1 年 ・発電や購入の電力が少ないと表示しない場合があります。（グラフが消えているように見えることがあります） ・季節によって発電時間は変動します。（水温やお湯使用量などが影響します）
	売電※1 太陽光発電の売電量と W 発電効果を見るとき	今日↔昨日↔今月↔先月↔過去 1 年 ・エネファームで発電することによって増える売電量が W 発電効果となります。
	給湯 貯湯ユニットからの給湯量を見るとき	今日↔昨日↔今月↔先月↔過去 1 年 ・貯湯ユニットから供給した量（貯湯）と、バックアップ熱源機で沸かした量（燃焼）を表示します。 ・給湯量は水道水の毎月の水温から通年 40℃で給湯する条件で計算しています。（東京都水道局の毎月の公表値（平成 16 年度～ 21 年度の平均値））
省エネした量でエコ貢献度を見る エコ	**CO_2 削減量** **CO_2 削減量（W 発電）**※1 削減量を森・木・葉の本数換算で見る	累積↔今日↔昨日↔今月↔先月↔過去 1 年 ・CO_2 削減量を、森・木・葉で表現しています。（P.46）
	エネルギー削減量 **エネルギー削減量（W 発電）**※1 一次エネルギー削減量を灯油換算で見るとき	エネルギー削減量を灯油に換算して、ドラム缶とポリタンクで表現しています。 ・ドラム缶 1 本＝ 200 L ・ポリタンク 1 個＝ 20 L ・灯油は 36.7 MJ/L として計算（ECCJ 省エネセンター資料より）
	自給率 電気や給湯の自給率を見るとき	電気 または 電気（W 発電）※1 ↔給湯 ・電気の自給率は、ご家庭で使用した電気のうち、エネファーム（または W 発電）の電気を利用した割合を表します。 ・給湯の自給率は、ご家庭で使用したお湯のうち、貯湯タンクに貯まったお湯を利用した割合を表します。 ・電気（W 発電）では、太陽光発電の売電量も含むため、100% を超えることがあります。 ・今日と今月の自給率は、それぞれの計算に使用する数字の桁数が異なるため、毎月初めの 1 日に、今日と今月の自給率の値が異なることがあります。



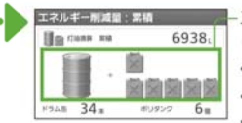


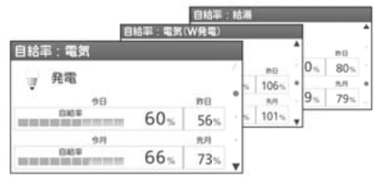


（画面例：電気）









■ 1 つ前の操作に戻るとき

→ メニュー/戻る 押す

■ 終了・中止するとき

→ エネルック 押す

（50 ページにつづく）

※ 1 W 発電設定「入」時（P.60 ～ 61）のみ表示

エネルック

エネルックで見る

エネルックで見る - ② エネルック

エネルックで、CO_2 削減量や使用量などを見ることができます。

1 エネルックを開く

エネルック



2 見たい＜項目＞を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



（つづきは、右の表をご覧ください）

（48 ページからつづく）

3 ＜詳細項目＞を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

4 ＜詳しい内容＞を見る

▼ ▲

＜項目＞ ／ ＜詳細項目＞ ／ ＜詳しい内容＞

電気やガスなど使った量を見る

使用量



電気

電気使用量の実績値と目標値やその差を見るとき

目標達成[※2] →今日↔昨日↔今月↔先月↔過去 1 年

- 目標値は、「エネルック設定」で設定できます。(P.52～53)
- 工場出荷時のグラフ表示のための目標値は 1 kWh/時間、24 kWh/日です。



目標達成に関する画面を表示します。[※2]

（画面例：電気目標達成）

ガス

ガス使用量の実績値と目標値やその差を見るとき

目標達成[※2] →今日↔昨日↔今月↔先月↔過去 1 年

- 目標値は、「エネルック設定」で設定できます。(P.52～53)
- 工場出荷時のグラフ表示のための目標値は 0.5 m^3/時間、12 m^3/日です。

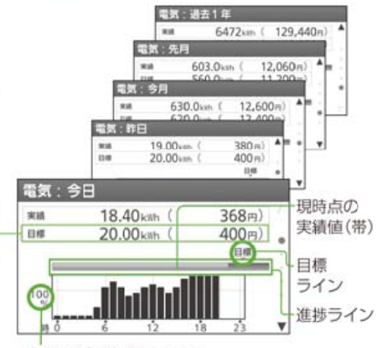
お湯（水道）

お湯（水道）使用量の実績値と目標値やその差を見るとき

電力ガス量測定ユニット（別売品）を接続時は、「水道」と表示されます。

目標達成[※2] →今日↔昨日↔今月↔先月↔過去1年

- 目標値は、「エネルック設定」で設定できます。(P.52～53)
- 工場出荷時のグラフ表示のための目標値は0.05 m^3/時間、1.2 m^3/日です。



目標設定 (P.52 ～ 53) を行わないと表示しません。

"100%" は目標値を表し、目標値を変えても数字は変わりません。

光熱費

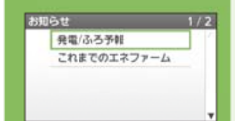
光熱費を見るとき

今日↔昨日↔今月↔先月↔過去 1 年

- 光熱費は、購入電気・ガス・お湯の合計です。何を含むかは「エネルック設定」で設定できます。(P.52 ～ 53)
- 工場出荷時のグラフ表示のための目標値は 57.5 円/日、1380円 /月です。

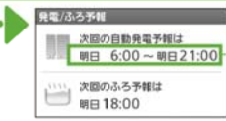
これからの予定、これまでの運転量を見る

お知らせ



発電 / ふろ予報

次回の発電予定時刻と、「お湯はり」のおすすめ時刻を見るとき



- 時刻の表示は、
  →発電開始時刻：1 時間刻み（起動中は 15 分刻み）
  →発電終了時刻：15 分刻み
  →ふろ予報　　：1 時間刻み（予約すると 10 分刻み）
- 発電モードや発電禁止時間の設定を変更した直後は、発電を禁止した時間帯が発電予報に反映されていないことがあります。ただし、禁止した時間帯には発電しません。
- 発電予報で 24 時間後に発電中を予定している場合は、終了予定時刻に「継続」と表示します。24 時間以内に発電予定がない場合は、「次回の自動発電予報はありません」と表示します。
- 発電予報がご希望の発電時刻と大きく違うときは、「予約発電」にすることをおすすめします。(P.40 ～ 41)
- 電気やお湯の使用状況が予測と異なる場合、当日中に発電予報が変化することがあります。
- ふろ予報で、ふろを初めて使う、しばらく使っていない、予報時刻を過ぎた場合など、「次回のふろ予報はありません」と表示することがあります。
- ふろ予報は、過去に多くお湯を使った時間から算出しており、この時間にお湯はりをすると省エネになります。
- ふろ予約をすると、ふろ予報時刻がふろ予約時刻の表示に変わります。

これまでのエネファーム

これまでの発電時間・発電電力量・発電金額・使用期間の累積値を見るとき



- 使用期間は、燃料電池ユニットの電源を「入」にしてからの期間です。

■ 1 つ前の操作に戻るとき

→ メニュー/戻る 押す

■ 終了・中止するとき

→ エネルック 押す

※ 2 工場出荷時から目標値を変更していないときは、表示しません。
目標達成表示は約 5 秒後に自動的に「今日」の表示に変わります。

エネルックの設定を変更する

エネルックに関する設定を変更できます。



（台所リモコン）

エネルックの設定を変更する

- 電気料金・目標設定
- ガス料金・目標設定
- 水道料金・目標設定
- 光熱費設定
- 売電料金設定
- 目標報知音設定
- グラフ、データ初期化

1 エネルックを開く

エネルック

エネルック 1/5
W発電
エコ
使用量
お知らせ
エネルック設定

2 「エネルック設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

エネルック 5/5
W発電
エコ
使用量
お知らせ
エネルック設定

3 変えたい<設定項目>を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

エネルック設定 1/7
電気料金・目標設定
ガス料金・目標設定
水道料金・目標設定
光熱費設定
売電料金設定

エネルック設定 7/7
水道料金・目標設定
光熱費設定
売電料金設定
目標報知音設定
グラフ、データ初期化

（つづきは、右の表をご覧ください）

■ 1つ前の操作に戻るとき
→ メニュー/戻る 押す

■ 終了・中止するとき
→ エネルック 押す

電気料金・目標設定 / ガス料金・目標設定 / 水道料金・目標設定

電気、ガス、水道に関して、各ご家庭に合わせて料金単価や1か月の目標を設定できます。

料金単価を変え、確定する

▼ ▲ → 確定

電気料金・目標設定
1kWhあたりの電気料金を設定
20円
▼ 料金 ▲

※工場出荷時は、電気0円、ガス0円、水道0円

- 1回押すと1円ずつ、押し続けると10円ずつ変わります。
- 料金を非表示にするときは、1円の状態で「▼」を押します。

目標値を変え、確定する

▼ ▲ → 確定

電気料金・目標設定
30日あたりの目標値を設定
先月参考 603 kWh（12,060円）
前年参考 608 kWh（12,160円）
目標値 600 kWh（12,000円）
▼ 目標値 ▲

- 目標値は、運転には反映されません。

光熱費設定

光熱費の表示に、電気・ガス・水道（お湯）を算入するかを設定できます。

各料金の算入「する」「しない」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

光熱費設定
電気料金の算入 する
ガス料金の算入 する
水道（お湯）料金の算入 しない
▼する/しない▲

※工場出荷時は、電気「する」、ガス「する」、水道「しない」

- 「確定」を押すと、次の項目設定へ移ります。

売電料金設定

- W発電設定「入」時（P.60～61）のみ表示

余った電気の売電料金を、各ご家庭に合わせて料金単価を設定できます。

料金単価を変え、確定する

▼ ▲ → 確定

売電料金設定
1kWhあたりの売電料金を設定
34円
▼ 料金 ▲

※工場出荷時は0円

目標報知音設定

目標値を超えたときのお知らせ音を入／切できます。

お好みの設定を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

目標報知音設定 1/2
使用量ナビ目標報知音設定
報知する
報知しない

※工場出荷時は「報知する」

- 「目標報知音」とは、エネルックの使用量で電気、ガス、お湯のいずれかの目標値画面が表示されたときに音でお知らせします。（目標値を設定していないときは画面が表示されず、目標報知音も鳴りません）
  昨日の使用量が目標値より少ないとき→「ポロポロポロロ」
  目標値より多いとき→「ポロロロロ…」
  でお知らせします。

グラフ、データ初期化

エネルックに記録されたグラフ、データを消去します。

「はい」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定

グラフ、データ初期化 1/2
グラフ、データを初期化
はい
いいえ

（初期化を）確定する

確定

グラフ、データ初期化
初期化すると元にもどすことができません。
初期化する：確定スイッチ
初期化しない：メニュースイッチ

- キャンセルするときは、
  → メニュー/戻る 押す

設定メニュー一覧

メニュー／戻るスイッチ メニュー/戻る で設定できる内容の一覧です。

詳しい説明は各参照ページをご覧ください。



メニュー	設定項目	設定できる内容
発電の設定を変える 発電設定	●手動発電 ※1 (P.40～41)	今すぐ発電を始めるとき／手動発電をやめるとき。
	●発電モード設定 ※1 (P.40～41)	自動発電／自動発電（W）／予約発電／発電切の中から設定します。
	●発電禁止設定 ※1 (P.42～43)	発電を禁止する時刻を設定できます。
浴室の様子を聞く 浴室モニター	●浴室モニター ※1 (P.29)	台所リモコンから浴室の様子を聞くことができます。
お湯をたす たし湯	●たし湯 ※2 (P.27)	おふろの浴槽にお湯をたします。
おふろの設定を変える ふろ設定	●ふろ予約 ※1 (P.24)	ふろ自動を予約します。
	●ふろ温度設定 (P.25)	ふろ自動のお湯の温度を変えられます。
	●ふろ湯量設定 (P.25)	ふろ自動のお湯の量を変えられます。
	●ふろ保温時間設定 (P.58～59)	ふろ自動後の、保温時間を変えられます。
	●ふろ配管自動洗浄設定 (P.58～59)	お湯を抜く度に、配管にお湯を流して洗浄する／しない
	●自動たし湯設定 (P.58～59)	おふろのお湯が減ったとき、自動でたし湯をする（入）／しない（切）
	●浴槽データクリア (P.58～59)	記憶している浴槽データをクリアする／しない
水をたす たし水	●たし水 ※2 (P.27)	おふろの浴槽に水をたします。

メニュー	設定項目	設定できる内容
暖房の設定を変える 暖房設定	●浴室暖房運転 (P.30)	浴室暖房を入／切します。
	●浴室暖房予約 (P.31)	浴室暖房予約を入／切します。
	●ふろ自動連動 (P.23)	ふろ自動と浴室暖房を連動して運転する（入）／しない（切）
	●暖房運転 ※1 (P.32)	機器側で操作できない暖房を入／切します。
	●暖房予約 ※1 (P.34～35)	機器側で操作できない暖房の予約を入／切します。
	●暖房予約時刻設定 ※1 (P.34～35)	機器側で操作できない暖房の予約時刻を設定します。
	●静音運転設定 ※1 (P.33)	運転音が気になるとき、音を抑えて運転する（入）／しない（切）
リモコンの設定を変える リモコン設定	●音声案内 (P.56～57)	リモコンの音声案内を変えたり、入／切します。
	●案内音量 (P.56～57)	リモコンの音声案内の音量を変えます。
	●発電報知音設定 ※1 (P.56～57)	発電を報知する音を入／切します。
	●発電ランプ設定 ※1 (P.56～57)	発電中のランプ表示を入／切します。
	●表示節電設定 (P.56～57)	しばらく操作しないと自動的に表示を消す（入）／消さない（切）
	●浴室モニター禁止 ※2 (P.56～57)	台所リモコンから浴室の様子を聞かれないようにします。
	●日付／時刻設定 ※1 (P.56～57)	日付と時刻を設定します。
	●リモコン設定初期化 (P.56～57)	「リモコン設定」を工場出荷時の設定に戻す（入）／戻さない（切）
さまざまな設定を変える その他設定	●契約アンペア設定 ※1 (P.60～61)	ご家庭の契約アンペアにあわせて設定をします。
	● W 発電設定 ※1 (P.60～61)	太陽光発電に関する表示の設定を入／切します。
	●機器の水抜き (P.66～67)	燃料電池ユニットや貯湯ユニットの水抜きをします。
	●機器の水はり (P.68～69)	燃料電池ユニットや貯湯ユニットの水はりをします。
	●発電設定初期化 ※1 (P.60～61)	発電設定を、工場出荷時の状態に戻す／戻さない
	●学習リセット ※1 (P.60～61)	学習したご家庭の使用状況などを消去する／しない

※１ 台所リモコンのみ操作できます。
※２ 浴室リモコンのみ操作できます。

設定を変える（リモコン設定）

リモコンに関する設定を変更できます。



（台所リモコン）



（浴室リモコン）

リモコンの設定を変える

- 音声案内
- 案内音量
- 発電報知音設定
- 発電ランプ設定
- 表示節電設定
- 浴室モニター禁止
- 日付 / 時刻設定
- リモコン設定初期化

1 メニューを開く

メニュー/戻る



2 「リモコン設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



3 変えたい<設定項目>を選び、確定する

▼ ▲ → 確定





（つづきは、右の表をご覧ください）

■ 1 つ前の操作に戻るとき

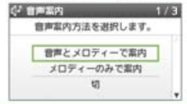
→ メニュー/戻る 押す

（変えたリモコンのみ設定変更）

音声案内

音声案内方法を変える／消すとき

音声案内の種類を選び、確定する ▼ ▲ → 確定



- 設定できる音声案内は、「音声とメロディー」「メロディーのみ」「切」

※工場出荷時は「音声とメロディー」

（変えたリモコンのみ設定変更）

案内音量

案内の音量を変えるとき

音量を選び、確定する ▼ ▲ → 確定



- 設定できる音量は、レベル 1 から 4 までです。

※工場出荷時はレベル 2

（台所リモコンのみ）

発電報知音設定

発電をお知らせする音を出す／消すとき

「入」「切」を選び、確定する ▼ ▲ → 確定



- 発電開始時に、鳥の鳴き声でお知らせします。
- 条件によっては発電予報の時間とずれることがあります。

※工場出荷時は「入」

（台所リモコンのみ）

発電ランプ設定

発電をお知らせするランプを点灯／消灯するとき

「入」「切」を選び、確定する ▼ ▲ → 確定



※工場出荷時は「入」

（変えたリモコンのみ設定変更）

表示節電設定

表示を消して節電するとき

「入」「切」を選び、確定する ▼ ▲ → 確定



- リモコンやお湯を使っていないときは、約 30 分後、表示が消灯します。ただし、給湯温度 50℃以上、ふろ自動中、追いだき中、たし湯中、たし水中、バックアップ熱源機の燃焼動作中、出湯中、浴室モニター中、凍結予防動作中、ダイヤログ（ポップアップ画面）表示中、故障表示中、点検マーク表示中は画面は消灯しません。※工場出荷時は「入」

（浴室リモコンのみ）

浴室モニター禁止

浴室モニターを禁止するとき

「する」を選び、確定する ▼ ▲ → 確定



- モニター禁止中でも通話はできます。
- モニター禁止は、約 30 分後に自動的に終了します。
- 「しない」を選ぶと、浴室モニター禁止を解除します。

※工場出荷時は「しない」

（台所リモコンのみ）

日付／時刻設定

日付／時刻を設定するとき

年、月、日、時刻を合わせ、確定する ▼ ▲ → 確定 （都度）



- 1 回押すと 1（年・月・日・分）ずつ変わり、押し続けると早送りします。
- 停電後または電源（ブレーカーまたは電源プラグ）を「切」にしたあと、再通電させると約 10 秒後には日付、時刻とも復旧します。
- 設定した時刻は、浴室リモコンにも同時に反映されます。
- NAHEMS アダプタ 200 H（別売品）接続時には、日付／時刻合わせは自動で行われ、リモコンでの設定はできません。

（変えたリモコンのみ設定変更）

リモコン設定初期化

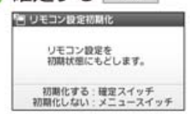
リモコン設定を工場出荷時の設定に戻すとき

「はい」を選び、確定する ▼ ▲ → 確定



- 設定を初期化すると元に戻すことはできません。
- 音声案内、案内音量、発電報知音設定、発電ランプ設定、表示節電設定、浴室モニター音量が初期化され工場出荷時設定に戻ります。

確定する 確定



- キャンセルするときは → メニュー/戻る 押す

設定を変える　ふろ設定

おふろに関する設定を変更できます。



（台所リモコン）



（浴室リモコン）

ふろ設定を変える

- ふろ保温時間設定
- ふろ配管自動洗浄設定
- 自動たし湯設定
- 浴槽データクリア

1　「切」にする

［給湯・ふろ 切/入］

2　メニューを開く

［メニュー/戻る］



3　「ふろ設定」を選び、確定する

［▼］［▲］→［確定］



4　変えたい<設定項目>を選び、確定する

［▼］［▲］→［確定］



（つづきは、右の表をご覧ください）

ふろ予約（P.24）

■ 1つ前の操作に戻るとき

→［メニュー/戻る］押す

ふろ保温時間設定

ふろ自動（P.22）やふろ予約（P.24）でお湯はり後の、保温時間を変えるとき

●●●▶ 保温時間を変え、確定する［▼］［▲］→［確定］



- 設定できる保温時間は、0、1、2、4、6、8時間。

※工場出荷時は4時間

ふろ配管自動洗浄設定

ふろ自動やふろ予約でお湯はりした後に浴槽のお湯を抜くと、ふろ配管内に残っていたお湯が循環アダプターから自動的に排出される機能を入／切するとき

→ **給湯・ふろスイッチを「入」、ふろ自動スイッチを「切」にして浴槽のお湯を抜くと、ふろ配管自動洗浄がはたらきます。**

●●●▶ 「する」「しない」を選び、確定する［▼］［▲］→［確定］



- **ふろ配管自動洗浄を「する」にしていても、下記の場合は洗浄しません。**
  - ふろ自動中、おふろが沸き上がる前に、ふろ自動を「切」にしたとき
  - もともと浴槽の水位が低い（循環アダプター上端から約5 cm以下）とき
  - 大型浴槽をご使用の場合や、排水配管のゴミ詰まりなどにより、排水時間が長いとき
  - ふろ自動を「切」にした直後、まだポンプが回っている（循環アダプターからまだお湯が出ている）ときに、浴槽の排水栓を抜いたとき
- ふろ設定温度によっては熱いお湯が出ますので、やけどにご注意ください。

※工場出荷時は「する」

自動たし湯設定

おふろのお湯が減ったときに、自動でたし湯をする機能を入／切するとき

●●●▶ 「入」「切」を選び、確定する［▼］［▲］→［確定］



※工場出荷時は「入」

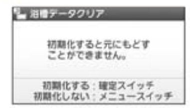
浴槽データクリア

記憶している浴槽サイズデータ（お湯の量と水位の関係）をクリアするとき

→ **増改築などで浴槽を買い替えた場合やバックアップ熱源機の設置場所を移動した場合などに操作します。**

●●●▶ 「はい」「いいえ」を選び、確定する［▼］［▲］→［確定］●●●▶ 確定する［確定］





- キャンセルするときは

→［メニュー/戻る］押す

- 浴槽データをクリアした後は、下記の手順に従って、ふろ自動運転の試運転を行い、新たに浴槽サイズデータを機器に記憶させてください。

  浴室リモコンで操作します。

  ①浴槽の残り湯をすべて排出する
  - 残り湯がある状態で以下の操作を行うと、その後のお湯はり時間が長くなったり、低い水位設定時に機器が作動しないなどの不具合が生じることがあります。

  ②浴槽の排水栓をしっかり閉じる

  ③ふろ自動スイッチを「入」にする（ふろ自動運転が始まります。）
  - ふろ自動運転中は給湯栓から浴槽にお湯を入れないでください。また運転中に何回か停止しますが異常ではありません。（試運転は約20分～30分かかります。）

  ④お湯はりが完了して、保温表示が点灯することを確認する

  →試運転完了です。（ふろ自動スイッチを「切」にしてください。）

設定を変える（その他設定）

さまざまな設定を変更できます。



（台所リモコン）

さまざまな設定を変える

- 契約アンペア設定
- W 発電設定
- 発電設定初期化
- 学習リセット

1 メニューを開く

メニュー/戻る



2 「その他設定」を選び、確定する

▼ ▲ → 確定



3 変えたい<設定項目>を選び、確定する

▼ ▲ → 確定





（つづきは、右の表をご覧ください）

機器の水抜き（P.66 ～ 67）
機器の水はり（P.68 ～ 69）

- 「機器の水抜き」「機器の水はり」は給湯・ふろスイッチを「切」にしていないとメニューに表示されません。

■ 1 つ前の操作に戻るとき

→ メニュー/戻る 押す

Ⓐ 契約アンペア設定

契約アンペアの設定を変えるとき

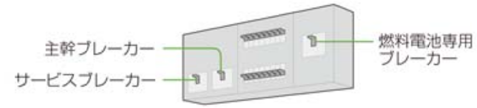
契約アンペア値を選び、確定する ▼ ▲ → 確定



- 設定できる契約アンペア値は、「30A」「40A」「50A」「60A」「設定なし」。
- 30 A 以下の場合は「30A」、60 A を超えるときは「設定なし」に設定してください。
- 正しく設定しないと、発電が行われなかったり、機器が壊れるおそれがあります。
- サービスブレーカーを交換した場合も契約アンペアを再設定してください。

※工場出荷時は 30A

■家庭契約アンペア値は、家庭用燃料電池分電盤のサービスブレーカー（ない場合は主幹ブレーカー）で確認してください。



W 発電設定

太陽光発電に関する表示の設定を変えるとき

「入」「切」を選び、確定する ▼ ▲ → 確定



「入」: 太陽光発電との併設時

「切」: 太陽光発電が設置されていない場合

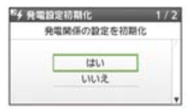
- 太陽光発電と併設していて、太陽光電流センサーセット（別売品）がない場合、W 発電設定を「入」にすると、太陽光発電の発電電力は表示しませんが、自動発電（W）が選択可能です。

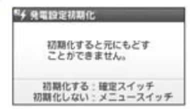
※工場出荷時は「切」

発電設定初期化

発電の設定（P.40 ～ 43）をリセットするとき

「はい」を選び、確定する ▼ ▲ → 確定 ••• **（初期化）確定する** 確定





- キャンセルするときは → メニュー/戻る 押す

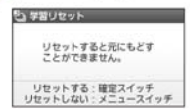
- 「発電設定初期化」で初期化できる項目は、契約アンペア設定、発電モード（P.40 ～ 41）、発電禁止時間設定（P.42 ～ 43）です。

学習リセット

これまで学習したご家庭の電気やお湯の使用状況をリセットするとき

「はい」を選び、確定する ▼ ▲ → 確定 ••• **（リセット）確定する** 確定

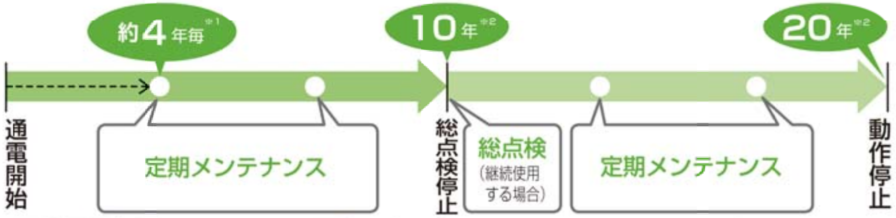




- キャンセルするときは → メニュー/戻る 押す

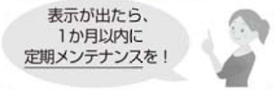
- 学習リセットをしても「エネルック」の表示はリセットされません。
- 「自動発電」、「自動発電（W）」の場合、学習リセットを行った当日は学習リセットする直前の学習に基づく運転をします。翌日から約 1 週間は、午前 8 時に発電を開始し、可能な時間だけ発電して自動で停止します。

定期メンテナンス、総点検停止と動作停止について



■発電電力量11,550 kWh（約4年※1）毎に定期メンテナンスが必要です。

→消耗部品などを交換します。
定期メンテナンスを受けないと、燃料電池ユニットが停止します。





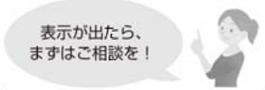
約1か月前から「点検」点滅表示

・ 確定 押す →警告表示：04F0またはD0F0

■停止すると →故障表示：05F0またはD1F0

※1 年数はお客さまの電気やお湯の使用量により変わります。

■「10年※2」または「発電時間6万時間＋3か月※2」の早い方で燃料電池ユニットが停止（総点検停止）します





3か月前から「総点検停止まで約○か月」点滅表示



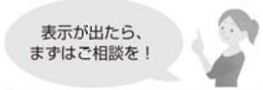
2週間前から「総点検停止まで間近」点滅表示

・ 確定 押す → 警告表示：06F0

■停止すると → 故障表示：07F0

※2 20年、10年および3か月は通電時間で判断しています。

■20年※2で…燃料電池ユニットが完全に停止（動作停止）します。





6か月前から「動作停止まで約○か月」点滅表示



2週間前から「動作停止まで間近」点滅表示

・ 確定 押す → 警告表示：08F0

■停止すると

「燃料電池は完全に動作停止しました。熱回収バルブを閉止し、お買い上げの販売店等へ連絡してください。」を表示し続けます。 → 故障表示：09F0

お買い上げの販売店・メンテナンス店・ガス事業者に連絡してください。

・定期メンテナンス後は、これまで通り使用できます。

・燃料電池ユニット停止後は、買い替えをおすすめします。
継続使用する場合は、総点検と以降の定期メンテナンスが必要です。
（費用はお買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご確認ください）

・燃料電池ユニット停止後は以下の処置を行ってください。
1. 燃料電池ユニットの専用ブレーカーを「切」にする。(P.15)
→故障表示：09F0
2. 燃料電池ユニットのガス栓、貯湯ユニットの熱回収低温バルブ、熱回収高温バルブを閉じる。(P.14)
3. お買い上げの販売店・メンテナンス店・ガス事業者に連絡する。
※ 燃料電池ユニット停止後は、燃料電池ユニットのみ継続使用できません。

(お知らせ)

・燃料電池ユニットが停止した後、リモコンに故障表示が残りますが、給湯・暖房・ふろは使用可能です。

お手入れする

●バックアップ熱源機に関しては、バックアップ熱源機の取扱説明書をご確認ください。

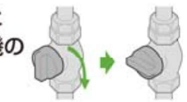
準備

機器のお手入れや点検をする前に、下記の準備をし、必ず機器が冷えてから行ってください。

1 「発電切」にする (P.40～41)
（完全に発電が停止するまでお待ちください。最長90分かかります）

2 給湯・ふろ 切/入 「切」にする

3 燃料電池ユニットとバックアップ熱源機のガス栓を閉める
(P.14～15)



・お手入れ・点検後は、燃料電池ユニットとバックアップ熱源機のガス栓を開け、発電モードを元に戻してください。
・バックアップ熱源機の取り扱いは、バックアップ熱源機の取扱説明書をご確認ください。

汚れが気になったとき

■機器本体の外装

機器本体の外装の汚れは、ぬれた布で落としたあと十分水気をふきとってください。
特に汚れのひどいときには、台所用中性洗剤（食器・野菜洗い用）を使用してください。


台所用中性洗剤（食器・野菜洗い用）

■リモコンの表面

表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。（塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤などを使用しない）
台所リモコンに水しぶきをかけたり、浴室リモコンに故意に水をかけたりしないでください。（故障の原因）


塩素系カビ洗浄剤


酸性の浴室用洗剤

水の出が悪くなったとき

■給水接続口の水抜き栓

給水接続口の水抜き栓のストレーナにゴミなどが詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合があります。（高温になっていることがあるため、必ず左記の「準備」を行い、終了後は元に戻す）

1 給湯・ふろ 切/入 「切」にする

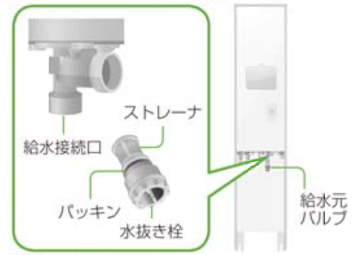
2 貯湯ユニットの配管カバーをはずす (P.18)

3 貯湯ユニットの下に水受け用に容器を置く

4 給水元バルブを閉める

5 給湯栓を開けて、再び閉める
・故障表示「269」が出ますが、異常ではありません。

6 給水接続口の水抜き栓を外してストレーナを掃除し、元に戻す



①左に回して外す。
・熱いお湯が出ることがあります。

⚠警告	禁止 お湯に触れない（やけどの原因）

②ストレーナについているゴミを取り除く。
・ストレーナが外れた場合、パッキンをなくさないように注意する。
③元どおり取り付ける。

7 給水元バルブを開ける

8 給水接続口の水抜き栓の周囲に水漏れがないか確認する

9 貯湯ユニットの配管カバーを元どおり取り付ける (P.18)

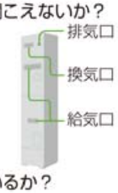
点検する

●点検を始める前に、必ず準備（P.63）をしてください。
●バックアップ熱源機に関しては、バックアップ熱源機の取扱説明書をご確認ください。

日常的に

■本体と設置状況の点検

- ☐ 機器や排気口の周りに、洗濯物や新聞紙、木材・灯油、スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？
  →燃えやすいものを置かないでください。
- ☐ 排気口や給気口、換気口がほこりなどでふさがっていないか？
  →掃除してください。
- ☐ 機器外観に異常な変色や傷はないか？
- ☐ 機器外装の下部周辺などにサビや穴開きはないか？
- ☐ 機器・配管から水漏れはないか？
- ☐ 運転中に機器から異常音が聞こえないか？
  異常な振動はないか？
  異常な臭いはないか？
- ☐ 配線に損傷はないか？
- ☐ 排気口にススがついていないか？
- ☐ 配管カバーやフロントカバーが確実に固定されているか？



●異常があれば
→故障かな？（P.73～P.77）を確認する
（それでも直らない場合）
→お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご相談ください。

月に２～４回

■浴槽の循環アダプター（フィルター）

- フィルターの形状は異なることがあります。
- お手入れ後は元どおり確実に取り付けてください。（故障の原因）
- フィルター以外は外さないでください。

1 フィルターを外す
（左に回す）



2 手前に引いて循環アダプター本体から取り外す



3 ブラシなどで掃除する
（フィルター正面と側面の裏表面）
- 金属などの固いブラシは使わないでください。



4 ▼を合わせてはめ込み、右に回して固定する
（"カチッ"と止まるまで）

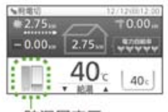


月に１回

■貯湯タンク

水道水に混じっていた泥やゴミなどが貯湯タンクに沈殿していることがあるため、貯湯タンク底部の水を入れ替えて沈殿物を流し出します。
●高温になっていることがあるため、必ず「お手入れする・準備」を行い、終了後は元に戻す。

1 貯湯量表示の目盛りが２以下を確認する
- ３以上のときは給湯温度を40℃に設定し、給湯栓を開いてお湯を減らす。



2 貯湯ユニットの電源を「切」にする
- ブレーカーや電源プラグを「切」にする。

3 貯湯ユニットの配管カバーを取り外す
- ねじ（２か所）を外す。



4 貯湯ユニットの排水バルブを全開にし、排水する



⚠警告	🚫禁止 お湯に触れない（やけどの原因）

→２分後に閉める

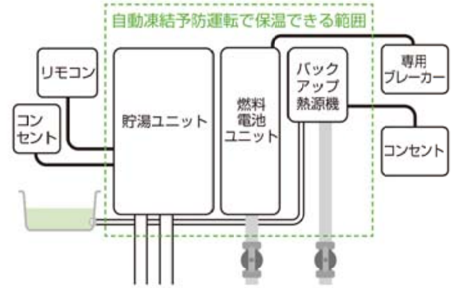
5 配管カバーを元どおり取り付け、電源を「入」にする
（ブレーカーや電源プラグを「入」にする）

凍結を防ぐ

●凍結により機器が破損したときの修理は、保証の対象外になります。
●暖かい地域でも機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。
●バックアップ熱源機に関しては、バックアップ熱源機の取扱説明書をご確認ください。

通常の寒さの場合：「自動凍結予防」をする

次の準備をしておくと、自動で凍結予防運転（凍結予防ヒーターとポンプ運転）を行います。
- 凍結予防中は、リモコンに動作表示（P.16）し、ポンプの運転音がする場合があります。
  また、リモコンに燃焼表示が点灯する場合があります。



準備１：燃料電池ユニット、貯湯ユニットおよびバックアップ熱源機の電源を「切」にしない
- リモコンの給湯・ふろスイッチの「入」「切」に関係なく、自動で運転します。

準備２：燃料電池ユニットとバックアップ熱源機のガス栓、給水元バルブ、バックアップ熱源機入りバルブ、熱回収低温バルブ、および熱回収高温バルブを閉めない
- 全開にしておきます。



準備３：循環アダプター（浴槽）より、5cm以上上水をはっておく
- 水がないとポンプが空運転し、大きな音が出ることがあります。



お知らせ
- 給水や給湯配管、排水配管・オーバーフロー配管、給水元バルブなどは凍結予防できません。
- 必ず保温材や電気ヒーターを巻くなど、地域に応じた処置をしてください。
- 分かりにくいときは、お買い上げの販売店やガス事業者にご確認ください。

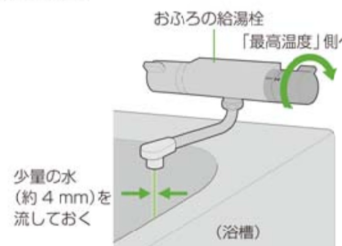
外気温が－15℃以下の場合や風がある場合：「通水」をする

「自動凍結予防」（上記）に加え、少量の水を流したままにして予防を強化します。

1  「切」にする（台所／浴室リモコン）

2 おふろの給湯栓を「最高温度」側にし、１分間に約0.4Lの水を流したままにする
- 再使用時の温度設定にご注意ください。
  （サーモスタット式混合水洗、シングルレバー式水栓の場合）

3 約30分後、水量を確認する
（流量が不安定になっていなければOK）



上記の処置をしても、なお凍結のおそれがある場合：「水抜き」をする

貯湯ユニットとバックアップ熱源機、燃料電池ユニットの水抜きをする（P.66～67参照）

凍結を防ぐ　水抜き

●水抜きはバックアップ熱源機(給湯側・ふろ側)→貯湯ユニット→バックアップ熱源機配管→バックアップ熱源機(暖房側)→燃料電池ユニットの順に行ってください。
●バックアップ熱源機に関しては、バックアップ熱源機の取扱説明書をご確認ください。

バックアップ熱源機、貯湯ユニット、バックアップ熱源機配管の水抜きをする

1 「発電切」にする
(P.40～41)
- 発電が完全に停止するまでお待ちください。(最長 90 分かかります)

2 貯湯量表示で、お湯がないことを確認する



貯湯量表示

- お湯が残っている場合は、貯湯タンクのお湯を使い切る
  ①リモコンで給湯温度を 40℃に設定し、給湯栓を開いてお湯を出す
  ②貯湯量表示がゼロになったら給湯栓を閉じる

3 すべての暖房運転を「切」にする
- バックアップ熱源機が暖房機能を持たない機種の場合は、この操作は不要です。

4 [給湯・ふろ 切/入] を「切」にする

5 バックアップ熱源機の給湯側・ふろ側の水抜きをする
- バックアップ熱源機の取扱説明書を確認して行ってください。
- 給湯、ふろの順に水抜きします。
- リモコンに故障表示が点滅することがありますが異常ではありません。そのまま水抜きを続けてください。

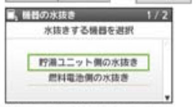
6 貯湯ユニットの配管カバー、サービス扉(逃し弁)を取り外す (P.18)

7 熱回収バルブを閉める
熱回収高温バルブ[6]
熱回収低温バルブ[7] } → 閉める

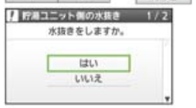
8 抜いたお湯(水)を受けるための容器を用意する
(約 0.2 L のお湯が出ます)
- 配管などが邪魔になって大きな容器が置けない場合は、手順 9-⑨の各水抜き栓から出るお湯(水)を受けるための容器を用意してください。(ペットボトルを切ったものなど)

9 貯湯ユニットのお湯を抜く
- リモコンに故障表示が点滅している場合は P.78～79 の処置を行ってください。

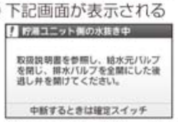
①[給湯・ふろ 切/入]→「切」にする
②台所リモコン、または浴室リモコンの [メニュー/戻る] 押す
③「その他の設定」を選び、確定する
[▼][▲]→[確定]
④「機器の水抜き」を選び、確定する
[▼][▲]→[確定]
⑤「貯湯ユニット側の水抜き」を選び、確定する
[▼][▲]→[確定]



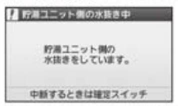
⑥「はい」を選び、確定する
[▼][▲]→[確定]



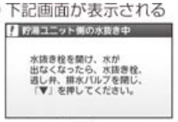
⑦下記画面が表示される



給水元バルブ[1] → 閉める
排水バルブ[2] → 全開
逃し弁[3] → 開ける
⑧下記画面が約 40 分間表示される



(貯湯ユニットの排水配管[4]出口から水が出なくなる)
⑨下記画面が表示される



水抜き栓[5] → 開ける
準備しておいた容器で水を受ける。最後の水抜き栓を開けてから 5 分以上そのままにして水を排出する。

水抜き栓[5]
逃し弁[3]
排水バルブ[2] } → 閉める
[▼] 押す

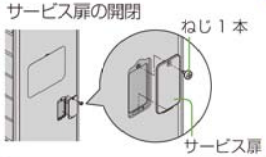
- バックアップ熱源機の底面が貯湯ユニットの接続口取付面よりも低い位置または同じ高さにある場合は、バックアップ熱源機配管の水抜きが終了するまで、貯湯ユニットの水抜き栓は開けたままにしてください。

10 バックアップ熱源機配管の水抜きをする
- バックアップ熱源機の取扱説明書を確認して行ってください。

11 バックアップ熱源機の暖房側の水抜きをする
- バックアップ熱源機の取扱説明書を確認して行ってください。
- バックアップ熱源機が暖房機能を持たない機種の場合は、この操作は不要です。
- リモコンに故障表示が点滅しますが、異常ではありません。

12 配管カバー、サービス扉(逃し弁)を元どおり取り付ける
(P.18)

サービス扉の開閉



貯湯ユニットの内側



燃料電池ユニットの水抜きをする

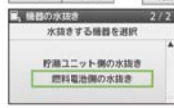
1 すべての暖房運転が「切」、[給湯・ふろ 切/入] が「切」になっていることを確認する

2 燃料電池ユニットの配管カバーを取り外す
(P.18)

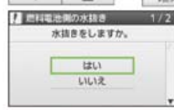
3 ガス栓を閉める
(P.18)

4 機器の下に大きめの容器を置く
(約 4 L のお湯が出ます)

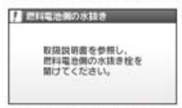
5 燃料電池ユニットの水(お湯)を抜く
①台所リモコン、または浴室リモコンの [メニュー/戻る] 押す
③「その他の設定」を選び、確定する
[▼][▲]→[確定]
④「機器の水抜き」を選び、確定する
[▼][▲]→[確定]
⑤「燃料電池側の水抜き」を選び、
[▼][▲]→[確定]



⑤「はい」を選び、確定する
[▼][▲]→[確定]



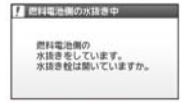
⑥「燃料電池側の水抜き」画面が表示される



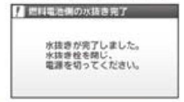
水抜き栓(2 か所)[ア]
→ゆっくりと緩める
※ 熱いお湯が出ることがあります。

エア抜き栓[イ]
フィルター[ウ] } →緩めて取り外す
- 必ずエア抜き栓→フィルターの順に行ってください。

貯湯ユニットの熱回収高温フィルター[8]のフィルタープラグ→ 緩めて取り外す
約 25 分表示される



⑦完了すると表示される



> ⚠ **警告**
> 禁止　**お湯に触れない**
> (やけどの原因)

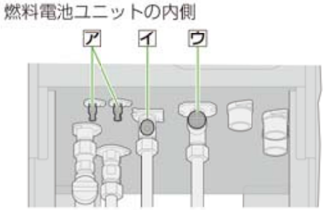
6 水抜き完了画面を表示後(排水完了後)、下記を閉じる
燃料電池ユニットの水抜き栓(2 か所)[ア] → 閉める
エア抜き栓[イ]
フィルター[ウ] } →取り付けて閉める
貯湯ユニットの熱回収高温フィルター[8]のフィルタープラグ → 取り付けて閉める

7 燃料電池ユニットの配管カバー、貯湯ユニットの配管カバーとサービス扉(逃し弁)を元どおり取り付ける (P.18、P.66)

8 燃料電池ユニットの専用ブレーカーと、貯湯ユニットの電源(ブレーカーまたは電源プラグ)、およびバックアップ熱源機の電源をすべて「切」にする

お知らせ
- 水抜き後、再使用するときは P.68～69 の「水はり」を行ってください。

燃料電池ユニットの内側



水抜き後、再使用するとき （水はり）

●水はり（通水）は貯湯ユニット→バックアップ熱源機（ふろ側）→燃料電池ユニットの順に行ってください。
●バックアップ熱源機に関しては、バックアップ熱源機の取扱説明書をご確認ください。
●貯湯ユニットの水はりが完了するまで、暖房運転を行わないでください。

（再使用時）貯湯ユニットとバックアップ熱源機、燃料電池ユニットの水はり(通水)をする

■貯湯ユニット、バックアップ熱源機

1 **貯湯ユニットの配管カバー、サービス扉（逃し弁）を取り外す**（P.18、P.66）

2 **貯湯ユニットの熱回収バルブを閉める**
熱回収高温バルブ[6]
熱回収低温バルブ[7] } → 閉める

3 **次のすべての栓などが閉まっていることを確認する**
給水元バルブ[1]
排水バルブ[2]
すべての水抜き栓[5] } → 閉まっていることを確認

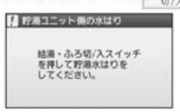
4 **逃し弁を数回開閉してから、閉める**
逃し弁[3] → 閉める

5 **バックアップ熱源機のバックアップ熱源機入りバルブが開いていることを確認する**
バックアップ熱源機入りバルブ
→開いていることを確認

6 **燃料電池ユニットの専用ブレーカーと、貯湯ユニット、およびバックアップ熱源機の電源（ブレーカーまたは電源プラグ）をすべて「入」にする**

7 **すべての給湯栓を閉める**

8 **貯湯ユニットの水はりをする**
・バックアップ熱源機（給湯側・暖房側）およびバックアップ熱源機配管へも通水されます。
① 台所リモコン、または浴室リモコンの [給湯・ふろ 切/入] を「入」にする
② 以下の表示を確認し [給湯・ふろ 切/入] →「切」

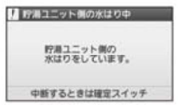


・上記表示が出ない場合などは [給湯・ふろ 切/入] を「切」にしてメニューより「その他設定」→「機器の水はり」→「貯湯ユニット側の水はり」を選択してください。

③「はい」を選び、確定する
[▼][▲] → [確定]



④ 以下の表示が出たら、
給水元バルブ [1] →全開にする
約 30 分以上表示される（給水圧によって異なります）



⑤ 表示が消えていることを確認する

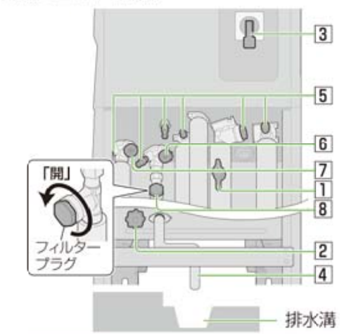
9 **給湯栓を開き、水が出ることを確認して閉める**
・貯湯ユニットや配管から水漏れがないか確認する

10 **逃し弁をゆっくりと開け、水が出ることを確認して閉める**
逃し弁[3] → 閉める

11 **バックアップ熱源機のガス栓を全開にする**

12 **バックアップ熱源機のふろ側へ通水する**
・バックアップ熱源機の取扱説明書を参照して行ってください

貯湯ユニットの内側



■燃料電池ユニット

1 **貯湯ユニットの熱回収高温フィルターからの水を受けるための容器(ペットボトルやバケツなど）を用意する**
（約５Ｌの水が出ます）

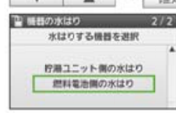
2 **熱回収高温フィルターのフィルタープラグを緩めて取り外す**
熱回収高温フィルター[8]のフィルタープラグ
→ 緩めて取り外す

3 **熱回収低温バルブをゆっくり開ける**
熱回収低温バルブ[7] → ゆっくり開ける
→熱回収高温フィルターから水が出るので、用意しておいた容器で水を受ける

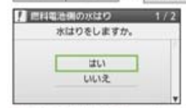
4 **水が出始めた後に２分以上通水したら熱回収低温バルブを閉める**
熱回収低温バルブ[7] → 閉める

5 **熱回収高温フィルターのフィルタープラグを閉める**
熱回収高温フィルター[8]のフィルタープラグ
→ 閉める
・フィルタープラグは手で閉め、工具で増し締めしないでください。

6 **燃料電池ユニットの水はりをする**
① 熱回収高温バルブ[6]
熱回収低温バルブ[7] } → 開ける
② [給湯・ふろ 切/入] →「切」であることを確認する
③ 発電モード→「発電切」にする
④ 台所リモコン、または浴室リモコンの [メニュー/戻る] を押す
⑤「その他設定」を選び、確定する
[▼][▲] → [確定]
⑥「機器の水はり」を選び、確定する
[▼][▲] → [確定]
⑦「燃料電池側の水はり」を選び、確定する
[▼][▲] → [確定]



⑧「はい」を選び、確定する
[▼][▲] → [確定]



⑨ 約 30 分以上表示される



⑩ 表示が消えていることを確認する

7 **燃料電池ユニットの配管カバーを取り外す**
（P.18）

8 **燃料電池ユニットのガス栓を全開にする**
（P.18）

■貯湯ユニットとバックアップ熱源機、燃料電池ユニットの水はり(通水)の後、

1 **燃料電池ユニットの配管カバー、貯湯ユニットの配管カバー、サービス扉（逃し弁）を元どおり取り付ける**
（P.18、P.66）

2 **発電モードを「自動発電」「自動発電(W)」または「予約発電」のいずれかに設定する**
（P.40 ～ 41）

長期間使わないとき

● 長期保管する場合は、以下の要領（燃料電池ユニット・貯湯ユニット共通）に従ってください。
凍結による修理は、保証の対象外となります。
● バックアップ熱源機に関しては、バックアップ熱源機の取扱説明書をご確認ください。

期間	電源	凍結のおそれ	水抜き	再使用時
1か月未満	入	無	行わない	・通常通り使用する（お湯を使うと、保管期間に応じて自動で水質維持のための沸き上げ運転（P.37）をすることがあります）
		※有		
	切	無	不要	
		有	要（P.66～67）	・貯湯ユニット、燃料電池ユニット、バックアップ熱源機の水はりをする（P.68～69）
1か月以上	入	無	行わない	・貯湯ユニットとバックアップ熱源機の水抜き（P.66）、水はり（P.68、P.69の燃料電池ユニットの手順1～6①および水はり後の処置）を行う
		※有		
	切	有/無	要（P.66～67）	・貯湯ユニット、燃料電池ユニット、バックアップ熱源機の水はりをする（P.68～69）

・水抜きを行わずに凍結のおそれがある場合（※部）は、（燃料電池ユニット・貯湯ユニット・バックアップ熱源機とも）凍結予防運転のため、ガス栓と給水元バルブ・熱回収低温バルブ・熱回収高温バルブ・バックアップ熱源機入りバルブを開けたままにしておいてください。

お願い

・保管期間は1年以内にしてください。（システムが正常に動作しなくなる場合があります）
・1年を超えた場合は、お買い上げの販売店・メンテナンス店・ガス事業者などにご連絡ください。

停電 / 断水 / ガス停止のとき

●発電中に停電 / 断水 / ガス停止になると、1日1回の発電制限により復旧後に発電できない場合があります。
●バックアップ熱源機に関しては、バックアップ熱源機の取扱説明書をご確認ください。

症状	処置	再使用時
停電のとき ・すべての運転が停止します。（水は出ます）	・給湯栓を閉じる。	・通常通り使用する。（燃料電池ユニットは、自動的に安全を確認し、運転を再開する）
断水のとき ・給湯・シャワーは止まります。 ・ふろ（お湯はり・追いだき）が止まることがあります。（故障表示が点滅） ・暖房は動きます。 ・故障表示（269）が出ることがあります。 ・燃料電池ユニットの運転が止まることがあります。（故障表示が出ます）	・給湯栓・給水栓を閉じる。 ・リモコンの給湯・ふろスイッチを「切」にする。 ・「発電切」にする。（P.40～41） ・故障表示が出て、「こんな表示が出たら」（P.78～80）の処置を行ってもなおらないときは、お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご連絡ください。	（給湯・ふろスイッチを「切」にしたまま、） ①給水栓を開けて、 ②汚れた水を十分流してから使用する。 ・故障表示「269」が出たときは ①リモコンの給湯・ふろスイッチを「切」にする。 ②再度「入」にする。 断水が復旧すると「269」が消えます。 ・「自動発電」「自動発電W」または「予約発電」のいずれかに設定する。（P.40～41）
ガス停止のとき ・燃料電池ユニットの故障表示が出ます。 ・すべての運転が停止します。（水は出ます） ・故障表示が点滅することがあります。	・給湯栓を閉じる。 ・リモコンの給湯・ふろスイッチを「切」にする。 ・すべての暖房機の運転スイッチを「切」にする。	・通常通り使用する。 ・故障・異常かな？の故障表示「A8F0」が出たときは、「こんな表示が出たら」（P.78～80）の処置を行い、燃料電池ユニットの運転を再開する。
停電、断水、ガス停止が **事前に分かっているとき** （工事など）	あらかじめ（最低90分前に）、「発電切」にする。（故障を防ぐため）（P.40～41）	・供給再開後は、「自動発電」「自動発電（W）」または「予約発電」のいずれかに設定する。（P.40～41）

災害のとき

● 貯湯タンクのお湯（水）を雑用水として利用することができます。
● お湯を取り出すときは熱に強い容器を使用してください。（ガラス容器などは熱により割れることがあります）
● 貯湯タンク内に貯まっているお湯（水）は、満水で約 147 L です。

■お湯（水）の取り出し方

1 「発電切」にする（P.40 ～ 41）
・発電が完全に停止するまでお待ちください。最長 90 分かかります。

2 停止中（▇⇄▇）から待機中（▇）の表示に変わるまで待つ（最長約 90 分）

3 貯湯ユニットの電源（ブレーカーまたは電源プラグ）を「切」にする

4 バックアップ熱源機のガス栓を閉める

5 貯湯ユニットの配管カバーを取り外す（P.18）

6 給水元バルブを閉める

7 熱回収高温バルブおよび熱回収低温バルブを閉める

8 排水配管を取り外した後ゴムホースなどを排水接続口に取り付け、バケツなどの排水を受ける器を準備する。

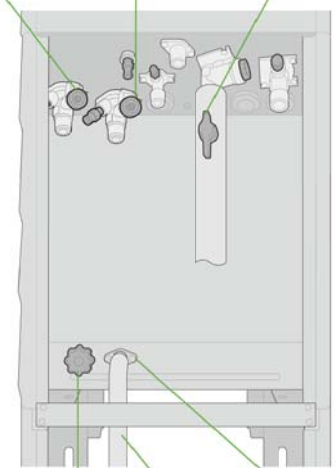
9 サービス扉（逃し弁）を取り外し、逃し弁を開ける



10 排水バルブを左に回して開き、貯湯タンクのお湯（水）を取り出す
・お湯（水）が勢いよく出ることがありますので、お湯（水）がかからない位置でホースの先をしっかりと固定してください。
・最初は水でも途中から高温のお湯（最高約 80℃）が出ることがあるのでご注意ください。

⚠警告	🚫 禁止 お湯に触れない（やけどの原因）

（貯湯ユニットの配管カバー内）



11 排水が終了したら排水バルブを閉じ、逃し弁を閉める

12 貯湯ユニットの配管カバーとサービス扉（逃し弁）を取り付ける（P.18、P.66）

お願い
・再使用するときは、必ず水はり（P.68 ～ 69）をしてください。

故障かな？

お問い合わせや修理をご依頼される前にまずご確認ください。
バックアップ熱源機や接続する機器などについては、それぞれの取扱説明書でご確認ください。

	こんなとき	原因と対処方法
燃料電池ユニット・貯湯ユニット本体	排気口から湯気が出る / 水が垂れる	● 排気ガス中の水蒸気が結露するためです（冬期）。特に寒いときは、水蒸気が結露し、水が垂れることがあります。
	外装板が熱い	● 運転中は熱くなることがあります。
	音がする	● 燃料電池ユニットの状態を正常に保つために、音がすることがあります。 ● 起動時や停止時に冷却用のファンが回り、キーンという音がします。 ● 発電開始や停止時に、弁が開閉し、カチカチという音がします。 ● 貯湯ユニットの状態を正常に保つために、待機中や給湯開始・停止時に音がする場合があります。
	勝手に動く	● 機器が最適な運転を判断して動くことがあります。 ● 一定時間お湯を使用していないときに、水質維持のため沸き上げます。動作状態表示のアイコンをリモコンに表示します。 ● 冬期に凍結を防止するためにポンプが動作します。 ● 停電から復帰するための動作をします。
	貯湯タンクにお湯がたまらない	● 発電は 1 日 1 回までで、発電停止後、4 時間以上の停止時間があります。そのため、十分なお湯の量をためる前に停止することがあります。 ● 機器の保護動作のため、発電を停止することがあり、それによりお湯がたまらないことがあります。（リモコンに「□保護動作中」を表示します） ● 家庭内使用電力が小さいと発電電力も低く、お湯がたまりにくいことがあります。 ● 冬期など水温が低いときは、お湯が貯まりにくいことがあります。
	貯湯ユニットから排水される	● 水質維持のための沸き上げ中に凍結予防動作がはたらいた場合など、貯湯ユニットから排水される場合があります。
	水が青く見える 浴槽や洗面台が青く変色した	● 浴槽や洗面台が水中に含まれる微量の銅イオンと脂肪分（湯あか）により青く着色することがありますが、人体に害はありません。
発電	発電開始に時間がかかる	● 発電準備→起動してから発電開始するまでに約 50 分かかります。（リモコンには起動中が表示）
	「発電切」なのにすぐに発電が停止しない	● 「発電切」を設定してから停止完了まで、約 90 分かかります。
	発電予報どおりに発電しない	● 発電予報は目安です。お湯の使用量や使用頻度が少ない場合など発電しないこともあります。
	いつまでたっても発電しない	● お湯や電気の使用状況により、発電しないことがあります。 ● 貯湯タンクが満タンの場合には、発電しないことがあります。 ● 発電モードを「発電切」に設定していませんか？ ● 契約アンペアが、実際の値より低めに設定されていませんか？（P.60 ～ 61） ● 保護動作による機器の判断で発電しない場合があります。（P.37）
	発電電力が小さい	● 最大 0.75 kW です。 ● 長年のご使用で、発電電力が低下することがあります。 ● 使用電力の急な変化など、発電電力が一時的に小さくなることがあります。
	発電が一時停止する	● 機器が判断して発電を一時停止することがありますが、故障ではありません。（この場合のみ発電は 1 日 1 回となりません）
	発電時間が短い	● 最も省エネになるよう、発電時間を決めています。 ● 水温が高い場合（夏場など）や、お湯の使用量が少ない場合、発電時間は短くなります。

故障かな？（つづき）

	こんなとき	原因と対処方法
給湯・シャワー	給湯栓を開いても、お湯が出ない	●ガス栓・給水元バルブが全開になっていますか？ ●バックアップ熱源機入りバルブ・給湯バルブが全開になっていますか？（P.15） ●断水していませんか？ ●給湯栓が十分開いていますか？ ●マイコンメーターがガスを遮断していませんか？ ●給水接続口の水抜き栓のストレーナにゴミなどが詰まっていませんか？（P.63） ●凍結していませんか？ ●給湯・ふろスイッチが「切」になっていませんか？
	給湯栓を開いても、お湯がすぐに出ない	●貯湯ユニットとバックアップ熱源機までの距離、およびバックアップ熱源機から給湯栓までの距離が長いと、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。 ●水質維持のために貯湯タンクのお湯を沸かしているときに凍結予防動作をしているとお湯が出てくるまでに時間がかかる場合があります。
	給湯栓を開いてから、お湯になるまでの時間が異なることがある	●お湯を供給するときに、バックアップ熱源機が燃焼動作をする場合と、しない場合があります。燃焼動作をする方が、お湯になるまでの時間が早くなります。
	低温のお湯が出ない	●ガス栓・給水元バルブが全開になっていますか？ ●バックアップ熱源機入りバルブ・給湯バルブが全開になっていますか？（P.15） ●給湯温度の設定は適切ですか？（P.20～21） ●低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなったり、湯温が安定しないことがあります。 →給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。 ●夏期などの水温が高いときには、設定温度より熱いお湯が出ることがありますが異常ではありません ●マイコンメーター遮断回避中や凍結予防動作中でバックアップ熱源機が燃焼動作しているときに、給湯栓を開けると、しばらく設定温度より熱いお湯が出ることがあります。
	高温のお湯が出ない	●ガス栓・給水元バルブが全開になっていますか？ ●バックアップ熱源機入りバルブ・給湯バルブが全開になっていますか？（P.15） ●給湯温度の設定は適切ですか？ ●冬期など水温が低いときに、設定した温度（高温）のお湯が出ない場合があります。 →お湯の量が少ないとき、多いときに高温のお湯が出ない場合があるため、給湯栓で使うお湯の量を調整してください。 ●混合水栓をご使用の場合、水が回り込んでお湯がぬるくなることがあります。 ●お湯はり・たし湯が終わっても、一度お湯の使用をやめるまで、やけど予防のため、ふろ設定温度のお湯が出ます。高温のお湯は出ません。（リモコン表示はそのままです。<例：給湯温度の設定 60 ℃→お湯の温度 40 ℃>）
	給湯栓を絞ると水になった	●この機器は通水量が毎分約 2 L 以下になると水になります。 →給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯が出ます。
	給湯温度が調節できない	●操作しているリモコンが優先になっていますか？（P.21） ●貯湯ユニットの電源が「切」、バックアップ熱源機の電源が「入」の状態では、給湯温度設定が 45 ℃固定となります。
	お湯が白く濁って見える	●水中の空気が熱せられ、泡となって出てくる現象で無害です。
	貯湯タンクにお湯があるのにバックアップ熱源機が燃焼動作する	●下記のような場合には、リモコンに貯湯タンクの残湯量表示があっても、バックアップ熱源機が燃焼動作することがあります。 ・貯湯タンクの湯温が低い場合 ・マイコンメーター遮断回避中、凍結予防動作中でバックアップ熱源機が燃焼動作しているときに給湯・シャワー・お湯はりなどを使った場合 ・給湯設定温度を変更してすぐの場合 ・給湯設定温度が 50 ℃以上の場合 ・一定時間お湯を使用しなかった場合 ・水質維持のための沸き上げ中に給湯・シャワー・お湯はりなどを使った場合
	お湯やシャワーを使っていないのにバックアップ熱源機が燃焼動作する	●マイコンメータ遮断回避中、凍結予防動作中などにバックアップ熱源機が燃焼動作することがあります。

	こんなとき	原因と対処方法
給湯・シャワー	お湯の出が悪い	●本システムは貯湯タンクにお湯をためる方式のため、水道直圧式の瞬間式給湯器よりもお湯の出が弱くなることがあります。 ●給水元圧が低い場合や給水給湯配管の口径や長さによりお湯の出が弱くなることがあります。 →お湯の出が悪いと感じる場合には、以下の方法をおすすめします。 ・低圧損または節水タイプのシャワーヘッドを使用する ・リモコンで給湯設定温度を上げ、水を混ぜる割合を増やして使用する（P.20）
	お湯も水も出ない	●給水元バルブが全開になっていますか？ ●断水していませんか？
	給湯栓からのお湯の量が変化する	●お湯を使用中、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があり、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、お湯が出なくなる場合もあります。 →しばらくすると安定します。 ●給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。
	給湯・ふろスイッチが「切」でも、お湯が出る	●マイコンメーター遮断回避中や凍結予防動作中で、バックアップ熱源機が燃焼動作しているときに給湯栓を開けると、給湯・ふろスイッチが「切」でも、しばらくお湯が出ることがあります。
	湯温が変動して安定しない	●給湯・シャワー使用中に、リモコンの貯湯タンク残湯表示がゼロになると、しばらく湯温が安定しないことがあります。 ●給湯・ふろスイッチを「切」にして、スムーズに通水することを確かめた後に給湯栓を閉め、約 20 秒後に再度操作してください。それでも異常があれば故障です。 →お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス会社にご連絡ください。
おふろ	設定したふろ温度にならない（ぬるい／熱い）	●浴槽の循環アダプターのフィルターにゴミや髪の毛が詰まっていませんか？（P.64） ●お湯はり中にふろ温度を低く設定し直すと、沸き上がり温度が設定温度より高くなることがあります。 ●ふろ設定温度は適切ですか？
	設定したふろ湯量にならない	●浴槽の循環アダプターのフィルターにゴミや髪の毛が詰まっていませんか？（P.64） ●ふろ湯量（ふろ水位）の設定は適切ですか？ ●おふろの排水栓はしっかり閉めていますか？ ●浴槽によっては高い水位（多い湯量）に設定するとお湯があふれることがあります。 ●沸き上がる前に、ふろ自動スイッチの「切」「入」を繰り返すと、お湯があふれることがあります。 ●残り湯が循環アダプターより下にある状態でふろ自動運転すると、設定水位を低くした場合には、水位が設定よりも高くなることがあります。
	濁ったお湯が出る	●ふろ配管洗浄をしていない場合、ふろ自動や追いだきを始めた直後、配管中の残り湯が混入して濁ったお湯が出ます。特に入浴剤をご使用の場合、にごりが目立つことがあります。
	追いだきができない／途中で停止する	●浴槽の循環アダプター上部より 5 cm 以上、お湯（水）が入っていますか？ ●循環アダプターのフィルターにゴミや髪の毛が詰まっていませんか？（P.64） ●断水していませんか？
	循環アダプターからお湯が出たり止まったりする	●ふろ自動スイッチを押すと、残り湯の量を確認するためにポンプが動き、しばらくして循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。
	ふろ配管自動洗浄ができない	●次のような場合は、ふろ配管自動洗浄ははたらきません。 ・給湯・ふろスイッチ「切」の場合 ・ふろ自動スイッチ「入」の場合 ・残り湯が循環アダプター上部より下にある場合 ・追いだき運転で水からおふろを沸かした場合 ●停電中ではありませんか？（停電後は、ふろ配管自動洗浄ははたらきません） ●「ふろ配管自動洗浄設定」が「しない」になっていませんか？（P.58～59）

故障かな？（つづき）

	こんなとき	原因と対処方法
おふろ	循環アダプターから「ポコ、ポコ」と空気の出る音がする	●追いだき配管などにたまった空気が出る音で、異常ではありません。
おふろ	ふろ自動運転のお湯はり完了まで通常より時間がかかる	●ふろ自動運転中にお湯を使った場合、お湯はりに使うお湯の一部を給湯で使うためのお湯はりに時間がかかります。
おふろ	ふろ自動運転の途中で燃焼を中断する	●浴槽に正確にお湯はりをするための間欠運転を行っているためです。（はじめてお使いになるときは、ふろ自動運転の水位を確認するため間欠運転を行います。）
おふろ	追いだき運転の途中でポンプが停止し、燃焼表示が点灯する	●追いだき運転開始時にふろ水流スイッチが入らない場合、ポンプへの呼び水のため約６Ｌのお湯をはるためです。浴槽にお湯（水）がない場合や追いだき配管に空気がたまっていた場合にも起こります。
おふろ	循環アダプターから泡が出る	●ふろ自動、追いだき、たし湯、たし水中など泡が出ることがありますが、異常ではありません。
おふろ	入浴中にお湯があふれる たし湯・たし水中にお湯があふれる	●浴槽の水位設定が高い場合には、お湯があふれることがあります。
おふろ	お湯はりの始めに水が出る	●水温が高いときや、ふろ温度の設定が低いときは、水が出ることがあります。
おふろ	おふろを使っていないのにお湯（水）が出る	●凍結予防動作中などに、ポンプが作動し、配管の残水が循環アダプターから出る場合があります。 ●浴槽のお湯（水）を排水中、ふろ配管洗浄がはたらくと、循環アダプターからお湯が出ます。
おふろ	たし水なのにお湯がでる	●給湯・お湯はり、たし湯の後やマイコンメーター遮断回避中や後にたし水を行うと、配管内に残ったお湯がでることがあります。
おふろ	運転終了後もしばらくポンプが回る	●ふろ自動運転、追いだき運転終了後も、浴槽のお湯のかくはんのためポンプがしばらく回ります。
おふろ	保温中ときどきポンプが回る	●浴槽のお湯の温度を検知するため、ときどきポンプが回ります。
リモコン（表示）	給湯・ふろランプが点灯しない	●停電していませんか？ ●一度、ブレーカーを「切」「入」し、電源プラグをコンセントから抜いて再び差し込んでから、操作してください。
リモコン（表示）	表示が自動消灯しない	●「表示節電設定」で表示の自動消灯が「切」になっていませんか？（P.56～57） ●給湯温度設定が 50℃、55℃、60℃のときは、自動消灯しません。 ●ふろ自動ランプ点灯中は、自動消灯しません。
リモコン（表示）	画面表示が消えている	●お湯を使わない、またはスイッチを押さないまま約 30 分たつと消えます。 →お湯を使ったり、スイッチを押すと再表示されます。 ●落雷などにより、一時的に消灯することがあります。
リモコン（表示）	勝手に点灯する	●自動配管洗浄やふろ凍結予防運転中は、点灯して案内表示が出ます。
リモコン（表示）	お湯を使用していないのに、燃焼表示が点灯する	●マイコンメータ遮断回避中、凍結予防動作中などにバックアップ熱源機が燃焼動作することがあります。

	こんなとき	原因と対処方法
リモコン（表示）	貯湯タンクにお湯がたまっているのに、お湯を使用したときに燃焼表示が点灯する	●下記のような場合には、リモコンに貯湯タンクの残湯量表示があっても、バックアップ熱源機が燃焼動作することがあります。 ・貯湯タンクの湯温が低い場合、またはリモコン設定温度が 50℃以上の場合 ・リモコン設定温度を変更してすぐの場合 ・マイコンメーター遮断回避中、または凍結予防動作中でバックアップ熱源機が燃焼動作しているときに給湯・シャワー・お湯はりなどを使った場合 ・一定時間お湯を使用しなかった場合、水質維持のための沸き上げ中に給湯・シャワー・お湯はりなどを使った場合
リモコン（表示）	浴室暖房の設定画面を表示しない	●電源投入後約 15 分間表示されないことがあります。
リモコン（表示）	スイッチを押しても動作をしない	●表示節電中は２回押さないと、はたらかないスイッチがあります。（P.56～57）
リモコン（表示）	操作できない	●誤操作防止のロックがかかっていませんか？（P.21）
リモコン（表示）	発電電力が 0.20 kW 未満となる	●家庭の消費電力が 0.20 kW 未満のときにエネファームが発電する場合、エネファームは 0.20 kW 以上の電力を発電しますが、リモコンの発電電力は家庭の消費電力に合わせて 0.20 kW 未満で表示します。（余剰分の電力はお湯をつくるために使います。）
リモコン（表示）	購入電力が 0.00 kW なのに電力メーターが動く	●実際の購入電力が 0.05 kW 未満のとき、リモコンの購入電力は 0.00 kW と表示するため、購入電力が 0.00 kW と表示されても電力メーターが動くことがあります。 ●エネファームが発電中で購入電力の表示が 0.00 kW となっている場合でも、逆潮流（エネファームで発電した電力が電力会社の系統電力に流れ出ること）を防ぐためにわずかな電力を購入しているため、電力メーター は動きます。
リモコン（通話音声）	通話が途切れる／通話ができない	●マイクに水滴がついていませんか？ →水滴を取り除いてください。 ●リモコンから 15 cm 以内に物を置いていませんか？ →物を取り除いてください。 ●機器の設置状況や使用環境などによって起こることがあります。
リモコン（通話音声）	相手の声は聞こえるが返答がない／声が聞こえにくい	●こちらが話す声よりも相手の周りの音が大きい、または相手が話す声よりもこちらの周りの音が大きいためです。 →シャワーを止める、テレビの音量を下げる。またはリモコンに近づいて話してください。
リモコン（通話音声）	変な音がする	●浴室リモコンと台所リモコンが近い場合、キーンという音（ハウリング音）がすることがあります。 →音量、モニター音量を下げる。それでも直らない場合は、お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご相談ください。 ●本体とリモコンの通信中に、「ブッ」という音がすることがあります。
リモコン（通話音声）	浴室の音楽などが、台所リモコンで途切れて聞こえる	●シャワーの音や、浴室のラジオ・音楽の音などを小さくすることで、人の声を聞きやすくするしくみになっています。
リモコン（通話音声）	通話中、ラジオ放送が聞こえる	●ラジオの送信所が数 km 以内にある場合におこることがあります。 →お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご相談ください。
リモコン（通話音声）	音声案内をしない	●通話中は音声案内をしません。 →通話を終了してください。 ●「音声案内」設定を「切」にしていませんか？（P.56～57） →「音声とメロディーで案内」を選んでください。
リモコン（通話音声）	音声が小さくなった（浴室リモコン）	●「案内音量」が低く設定されていませんか？ ●スピーカー部に水がたまっていませんか？ →水をふき取ってください。

こんな表示が出たら



●不具合の場合は、左のように故障表示が点滅します。
下表の処置を行ってください。

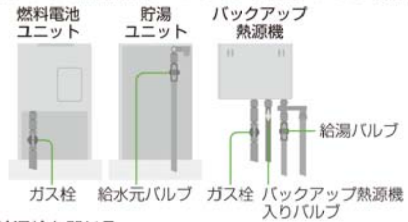
	故障表示	処置
貯湯ユニット・バックアップ熱源機※	039 059 079 089 109 149 169 179 269 319 339 349 359 419 429 509 549 569 609 639 659 669 709 769 A09 A19 A29 A39 A49 A59 A69 A79 A89 C19 C29	下記参照

1 故障表示「039」「079」「089」「269」の場合は以下の処置を行う

故障表示	原因	処置
039	貯湯ユニットの水はり時に、給水元バルブやバックアップ熱源機入りバルブを閉じたままにしていた	給水元バルブとバックアップ熱源機入りバルブを開ける。
079	貯湯ユニットの水はりが一定時間以内に完了しなかったため	P68 の手順に従って貯湯ユニットの水はりを行う。
089	貯湯ユニットの水抜き時に、給水元バルブを開けたままにしていた、または排水バルブを閉じたままにしていた	P68 の手順 8 の①、②を行い、「水はりをしますか。」という確認が表示されたら「いいえ」を選び、確定する。P66 に従って手順 9 から再度水抜きを行う。
269	断水していた	給湯栓・給水栓を閉じ、給湯・ふろスイッチを「切」にする。水の供給が復帰したら、給水栓を開けて汚れた水を十分流してから、給湯・ふろスイッチを「入」にする。
	給水元バルブを閉じたままにしていた	給湯栓・給水栓を閉じ、給湯・ふろスイッチを「切」にする。給水元バルブを開け、給湯・ふろスイッチを「入」にする。

2 上記以外の故障表示が現れた際、下記の処置を行ってリセットできるか確認する

①ガス栓、給水元バルブ、バックアップ熱源機入りバルブおよび給湯バルブが十分開いているかを確認する。



②お湯を使っている場所の給湯栓を閉じる。



③リモコンの給湯・ふろスイッチを「切」にし、再び「入」にする。



④再度、使用可能か確認する。
・故障表示のうち、「032」「161」「632」が点滅した場合は、以下の処置を行い、再度使用してみてください。

故障表示	原因	処置
032	排水栓をしないで、ふろ自動運転をした、または断水していた	断水をしていないか確認し、浴槽の排水栓を閉じてからふろ自動運転をする。
161	給湯中にお湯の温度が設定温度よりも上がりすぎた	給湯栓を開いて流量を多くして、お湯を出してみる。
632	追いだき運転時に、浴槽のお湯（水）がたりなかった（浴室リモコンの追いだきスイッチを押したとき以外）	浴槽の排水栓を閉じ、浴槽の水位が、循環アダプター上端から 5 cm 以上高くなるようにお湯（水）をはってから、追いだきする。
	追いだき運転時に、浴槽の排水栓が抜けていた	
	循環アダプターのフィルター詰まりなど	循環アダプターのフィルターを掃除し、正しく取り付けたうえで、追いだきをする。

・バックアップ熱源機の故障の場合は、左ページに記載の故障表示以外の故障表示が出ます。バックアップ熱源機の取扱説明書もご確認ください。
・故障表示「101」・「103」が点滅しているときは、お湯を使うことはできますが、給排気異常により十分な給湯能力が出ない状態です。
・故障表示「920」が点滅しているときは、しばらくはお湯を使うことができますが、いずれ機器が使用できなくなります。
・リモコンの故障などの場合は、表示画面が点灯しなくなりますが、お湯を使うことはできるようになっています。ただしこの場合、高い温度（約 45℃）のお湯が出ますので、使用には十分ご注意ください。

こんな表示が出たら（つづき）

	故障表示	原因	処置
燃料電池ユニット	02F0 02F1 02F2	水はり忘れ、水抜き栓の閉め忘れ、または水抜き栓の開け忘れ	①給湯・ふろスイッチを「入」「切」する。 ② P.67 の手順 5、または P.68 ～ 69 の操作を行う。
		水はりが完了していない状態で〔発電切〕以外の発電モードを選択した	①「発電切」を選ぶ。 ②貯湯ユニットおよび燃料電池ユニットの水はりを完了する。 → P.68 ～ 69 ③「発電切」以外の発電モードを選ぶ。→ P.40 ～ 41
	※（04F0） （D0F0）	定期メンテナンス時期のお知らせ	お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご連絡ください。→ P.62
	05F0 D1F0	定期メンテナンスが必要	お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご連絡ください。→ P.62 （燃料電池ユニットは停止しています）
	※（06F0）	総点検時期のお知らせ	お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご連絡ください。
	07F0	総点検未実施による停止	
	※（08F0）	動作停止時期のお知らせ	
	09F0	動作停止しました	
	A8F0	燃料電池ユニットのガス栓が閉まっている（地震でマイコンメーターがガス遮断している場合あり）	①ガス栓を開ける。（マイコンメーターのガス遮断解除方法はマイコンメーターの取扱説明書に従ってください） ②給湯・ふろスイッチを「切」にし、画面が消えてから再度「入」にする。
	F2F0 F3F0	停電時に電源（周波数）異常が生じた	給湯・ふろスイッチを「切」にし、画面が消えてから再度「入」にする。
	その他、表示の下２桁目にＦがつく場合 ○○F○	燃料電池ユニットに不具合が生じた	お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者へご連絡ください。（燃料電池ユニットの点検が必要）

※ 確定 を押すと表示されます。

■ 以下の場合は、お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご連絡ください。

- ●P.78 ～ 80 に記載以外の故障表示が出たとき
- ●P.78 ～ 80 に記載した処置をしても、表示が繰り返し出るとき
- ●その他、分からないとき

主な仕様

共通仕様	
ガスの種類	都市ガス用　13 A
電源種別	● 燃料電池ユニット：単相 3 線式　AC100 V / 200 V　50 Hz / 60 Hz ● 貯湯ユニット　　：単相 2 線式　AC100 V　50 Hz / 60 Hz
減圧弁設定圧力	370 kPa
ユニット間最大配管長	片道 8 m
運転制御方式	自動発電（学習予測機能付き）、予約発電、手動発電

		燃料電池ユニット	貯湯ユニット
品番		191-PA02	136-PA02
形式 / 型式		FC-75CR13	KGTS-FCA13A
設置方式		屋外基礎据付（M10 アンカーボルト 8 個）	
排気方式		強制排気方式	―――
外形寸法〈mm〉		高さ 1850 ×幅 400 ×奥行 400	高さ 1850 ×幅 560 ×奥行 400
質量〈kg〉	乾燥質量	90	55
	運転質量	95	210
接続口径	都市ガス	R1/2	―――
	熱回収（高温・低温）	高温 R1/2、低温 R1/2	高温 R1/2、低温 R1/2
	ドレン	R1/2	―――
	オーバーフロー	―――	R1/2
	バックアップ熱源機（往き・戻り）	―――	往き R3/4 戻り R1/2
	給水	―――	R3/4
	排水	―――	R1/2
消費電力〈W〉	最大時	500	61
	凍結予防運転時	680	166
	無負荷（待機）時	10	8
ガス消費量	最大時〈kW〉	1.9（LHV）　2.1（HHV）	―――
騒音値	発電時〈dB（A）〉	38	―――
電気出力〈W〉	定格出力	750	―――
	出力範囲	200 ～ 750	―――
熱出力	熱回収温度〈℃〉	60 ～ 80（安定時）	―――
	定格発電時出力〈W〉	1080	―――
	出力範囲〈W〉	210 ～ 1080	―――
効率	発電効率（定格時）	39.0 % LHV　35.2 % HHV	―――
	熱回収効率（定格時）	56.0 % LHV　50.6 % HHV	―――
安全装置		可燃ガスセンサー、CO センサー、立消え安全装置、過熱防止安全装置、過圧防止安全装置、停電時安全装置、余剰電力ヒーター過熱防止安全装置、ファン回転検知装置、誘導雷保護装置、漏電安全装置	過圧防止安全装置、断水検知装置、沸騰防止装置、高温出湯防止装置、停電安全装置（停電時高温出湯回避装置）、漏電安全装置、過電流防止装置

- ・本仕様は、改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・ガスは JIS に規定する標準ガス、標準圧力での値です。
- ・バックアップ熱源機の仕様については、バックアップ熱源機の取扱説明書をご確認ください。

アフターサービス

サービスを依頼される場合

故障かな？と思ったら P.73 ～ 77 を、画面に「故障表示」が出たら P.78 ～ 80 を調べて、適切な処置を行ってください。
それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者にご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

●品名・品番（ユニットの銘板に記載しています）
●異常の状況（故障表示など、できるだけ詳しく）
●ご住所・ご氏名・電話番号
●訪問ご希望日

転居・移設される場合

- お客さまのご使用状況に関するデータ（エネルックデータ）が機器に残っていますので、必要に応じて転居前に「グラフ、データ初期化」（P.52 ～ 53）および「学習リセット」（P.60 ～ 61）で削除してください。
- 転居などで機器を移設されるときは、機器（銘板）に表示してあるガスの種類・電源（電圧・周波数）が移設先と合っているかをご確認いただき、必ずお買い上げの販売店、メンテナンス店、または転居元のガス事業者にご相談ください。ガスの種類の異なる地域へは移設できません。